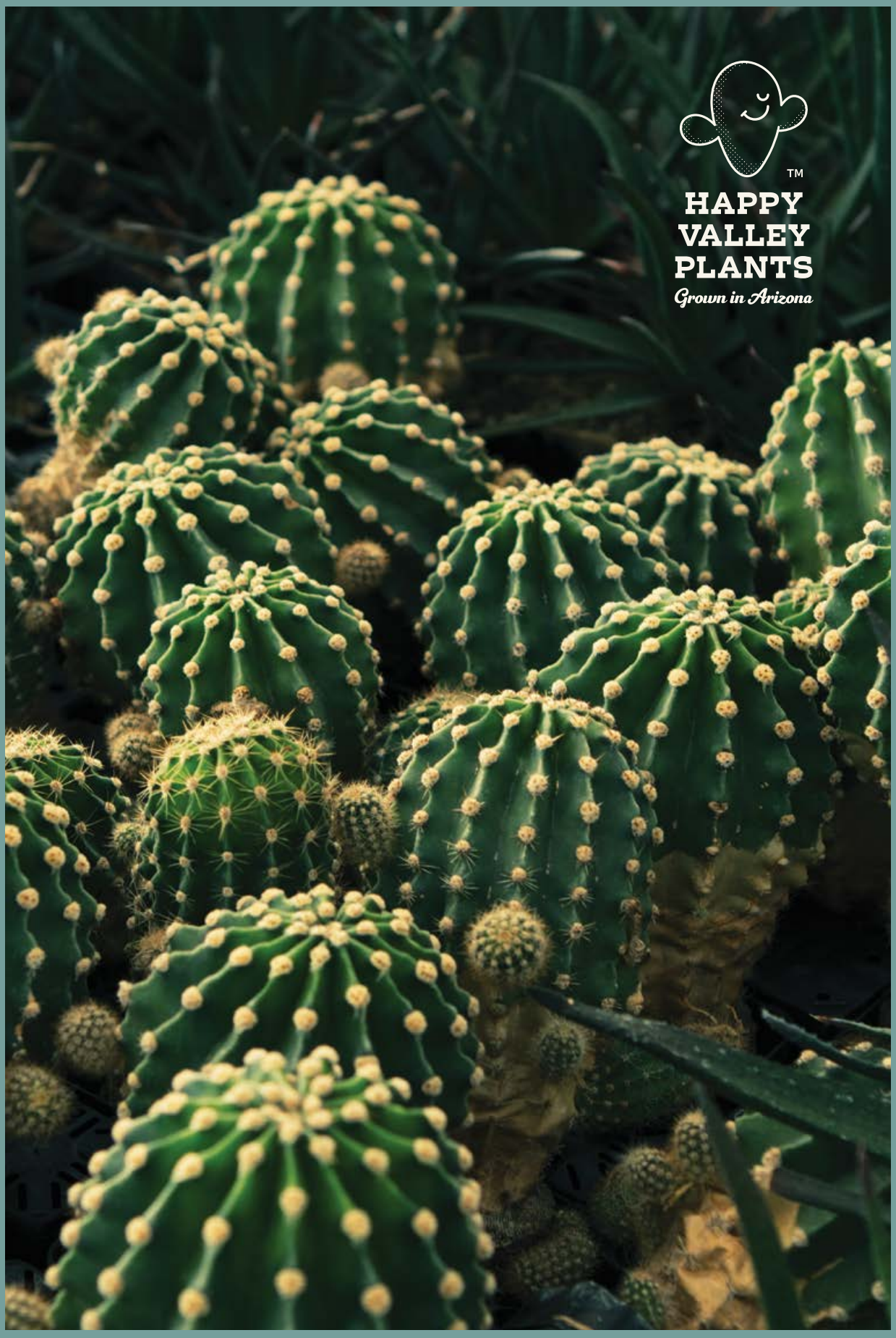
砂漠植物ガイド



ARIZONA

こんにちは。

この本を手にしていただきありがとうございます。アメリカ南西部の驚異的で挑戦的な植物に対する私たちの熱い思いをこの本を通して共有できれば幸いです。40 年にわたる専門知識を皆さまと共有し、より多くの植物の美しさで私たちの地球に変化をもたらす信頼できるガイドとなれることを嬉しく思います。

この本はあなたへのギフトです。

アリゾナ・ホールセール・グローワーズの国際部門であるハッピーバレー・プランツは、1982 年にビルとシンディ・コックスによってアリゾナ州フェニックスの埃っぽいトレーラーからスタートしました。現在も家族で経営しており、息子のショーンが、植物の革新、栽培、教育、顧客への取り組みなど、創業者の素晴らしい伝統を引き継いでいます。

私たちは、砂漠の気候がもたらす厳しい試練を乗り越え、研究を重ね、確固たる粘り強さを身につけました。そして今、私たちはアメリカ南西部の宝石を世界中にお届けできることを誇りに思っています。その結果、私たちの生産現場、施設、研究所は 400 エーカーを超え、増え続ける世界中のお客様のニーズに応えています。

私たちは、この本に登場するすべての生物種について多くのことを学んできました。そして、今もなお学び続けています。しかし、これだけは確かです——私たちのブランドミッションは揺るぎないものなのです：

私たちは、真のコラボレーションとパートナーシップこそが、本当の意味での成長だと信じています。私たちは、お客様のビジョンを実現するために、在り続けます。これが、私たちが朝起きる理由であり、私たちの社員、製品、歴史の魂なのです。

私たちは、お客様の成長をどのようにお手伝いできるか常に考えています。

このガイドの使い方

世界の天候が変化し、水の利用制限が強化される中、私たちは著しい乾燥耐性を持つ 4 つの重要な植物群に注目しています。本書では、この 5 つのグループについて、十分な情報を得た上で植物を選択するために必要なすべてが記載されています。

私たちは常にお客様からのフィードバックを大切にしています。そのおかげで、今回のエディションは焦点を絞ったより良いものになっています。以下はその一部です：

「あらゆるプロジェクトのプランニングに役立つツール！植物の特定や代用品、また植物や木が原寸大でどれくらいの大きさになるかを知るために使える貴重な資料です！」

ステファニー・デハート、アースケープス、アリゾナ州フェニックス

「この本は、本当は「砂漠の植物バイブル」と名付けるべきですね」

ニッキー・ヴェルテン、DTR ランドスケープ・デベロップメント

「これは素晴らしいリソースです！ほぼ毎日使っています。写真、植物の条件や説明はいつもとても役に立ちます。」

ュリー・ペテックス、SELM 社

「このガイドブックには大量の情報が掲載されており、また、実際の植物がどのようなものかを特定するのに役立つ写真も掲載されているため、大変役立っています。」

クリスチャン・バラハス、アメランドスケープ

植物学名
現在認識されている植物学名。

一般名
特定の植物に最も関連性の高い、または認知度の高い園芸名。

サイズ
単位は「インチ」または「フィート」で、代表的な成熟したサイズ。

日当たり
植物が最適に成長するために必要な日照量の推奨値。

- 好日性とは 8 時間以上の直射日光
- 半好日性とは木や低木の葉、パティオの格子や布などでフィルターされた直射日光
- 半日陰性とは、4 時間以下の直射日光
- 日陰とは 2 時間以内の直射日光

耐久性
植物が大きなダメージや死滅なしに維持できる USDA ゾーンと最低温度（華氏）で表される値。

特別な特徴
一般的な識別説明、注目すべき個体の特徴、特定の文化的要件、花の色、およびいくつかの有用なデザインの提案。

その他の重要な情報については、裏面をご覧ください。

- **植物用語集**
- **ラテン語とギリシャ語の理解 101**
- **植物の害虫とその駆除方法**
- **米国農務省（USDA）耐寒性ゾーンマップ**

センチュリープラント

アガベ

リュウゼツラン科、特にアガベ属は、何世紀にもわたって多肉植物コレクター、造園家、高級園芸家の間で珍重されてきました。アガベは、花を咲かせるまでに何年もかけて成長することから、一般にセンチュリー・プラントと呼ばれています。リュウゼツラン属には、何百種類もの種、品種、雑種があり、単子葉植物で、通常、厚い多肉質の葉で基部のロゼットを形成しています。サイズ、形、色も様々で、どのような景観や庭のデザインにも合うアガベを見つけることができます。

アガベ・アメリカーナ センチュリー・プラント

高さ 5’-6’ x 幅 6’-8’ 好日性 USDA ゾーン 8 / 15F

象徴的な古典的品種。青緑色から灰緑色の幅広の葉には、葉の縁と末端の棘に沿って、大きな歯があります。この堂々とした美しさは、生育に余裕を持たせて、フォーカルポイントになるようにしましょう。

アガベ・アメリカーナ・マルギナータ アオノリュウゼツラン

高さ 5’-6’ x 幅 6’-8’ 好日性 / 半日陰性 USDA ゾーン 8 / 15F

グレーの葉の縁に鮮やかなゴールドのストライプやリボンが入っているのが、センチュリー・プラントとの違いとなります。乾燥に強く、メンテナンスも最小限で済みます。

アガベ・アメリカーナ’コーネリウス キジカクシ

高さ 2’-3’ x 幅 2’-4’ 好日性 / 半日陰性 USDA ゾーン 9 / 25F

ガジモドは緑よりの金色が特徴的で、葉の縁が波打つような珍しい特徴を持ちます。この植物はかなり小型ですが、しばしば塊状に成長する習性があり、多くの造園用途に利用することができます。低メンテナンスで乾燥に強いこの植物は、ご近所さんの注目を集めることでしょう。

アガベ アメリカーナ・メディオピクタ・アルバ 華厳

高さ 3’-4’ x 幅 4’-6’ 好日性 / 半日陰性 USDA ゾーン 8 / 15F

葉の中央部にクリームホワイトのストライプがあり、その周りを甘美なブルーグレーが取り囲んでいることから、この名前がつきました。このパレットは、植えた場所を明るく照らします。中位から小位の歯が縁を走り、黒く反り返った末端の棘で終わります。熱の反射で白いストライプが焦げることがあるので、西向きの壁の近くには植えないようにしましょう。

アガベアメリカーナ・メディオピクタ・‘オーレア’ 琥珀竜

高さ 5-6’ x 幅 5-6’ 好日性 / 半日陰性 USDA ゾーン 9 / 25F

アメリカ産の同属種よりやや小型で、葉は厚く、棘があり、灰緑色で、中央に鮮やかな黄色のストライプが入った印象的なロゼットを形成します。日当たりを好みますが、他のアガベよりも明るい日陰にも耐えることができます。暑さと乾燥に強いですが、凍結には注意してください。

アガベ・アングスティフォリア ‘マルギナータ’ 白閃光

高さ 3’-4’ x 幅 3’-4’ 好日性 / 半日陰性 USDA ゾーン 9 / 25F

トロピカルな雰囲気のアガベで、左右対称の丸い形が魅力的です。「マルギナータ」とは、葉の縁が明るい白色であることに由来します。葉の縁にある小さな反り返った歯は、この植物の周囲で作業する際に注意が必要です。栽培は簡単で、ほとんど手入れを必要とせず、成熟すると乾燥にも強くなります。

アガベ・アテナータ フォックステールアガベ

高さ 3’-4’ x 幅 3’-4’ 好日性 / 半日陰性 USDA ゾーン 9 / 25F

メキシコ原産で、歯や末端のトゲがないため、独特の柔らかさがあります。銀色がかった淡い緑色の葉で構成される豊富なロゼットは、次第に花のように開いていきます。緑黄色で非常に背の高い花を咲かせ、空に向かって伸びた後、地面に向かって種鞘を沈め、キツネの尾のように反り返ることから、この名前がつきました。

アガベ・‘ブルーエンバー’ ブルーエンバーアガベ

高さ 3’ x 幅 2’ 好日性 USDA ゾーン 9 / 25F

この壮大なハイブリッドは、リュウゼツラン科の中で均一性と一貫性を保つために2009 年にカリフォルニアで交配されましたが、まだ希少な存在です。ブルーの葉にレッドオレンジのエッジが入り、シャープなブラックポイントになるようにテーパーがかかっています。乾燥に強く、氷点下まで耐えることができ、暑さにも強いアガベです。王家のような華やかさを、景観やコンテナに植えてみてはいかがでしょうか。

アガベ・‘ブルーフレイム’ ブルーフレイムアガベ

高さ 2’-3’ x 幅 2’-3’ 半好日性 / 半日陰性 USDA ゾーン 9 / 25F

ブルーフレイムアガベは、ソフトでワックス状のブルーグリーンの葉が、滑らかなエッジで垂直に伸びることから名付けられました。成木になると、低地の砂漠でも乾燥に強いので、手入れは簡単です。ただし、植え付け当初は、定期的に水やりをするとよいでしょう。樹木や大きな灌木の下に植えると効果的です。ブルーフレイムは、時間が経つと大きな塊状になります。

アガベ・‘ブルーグロー’ ブルーグローアガベ

高さ 1.5’-2’ x 幅 2’-3’ 好日性 / 半日陰性 USDA ゾーン 9 / 20F

ブルーグローアガベは、アティヌータとオカホイを交配して作られた品種です。この素晴らしい品種は、小さく、完璧に丸い形をしており、濃いブルーグリーンの葉に短い赤い末広がりの棘があります。また、葉の縁には薄い金色と赤色があり、昼下がりや早朝に自然光で逆光にすると、この植物に天国のようなオーラを与えてくれます。

アガベ・ボビコルヌータ カウズ・ホーンアガベ

高さ 1.5’-2’ x 幅 2’-3’ 好日性 / 半日陰性 USDA ゾーン 9 / 20F

この印象的なアガベを一言で表すと、「大胆」です。 幅 5 ～ 6 インチのアーミーグリーンで光沢のある葉に、葉の縁にある大きな赤みがかった色の棘が印象的です。水はけのよい土なら、どんな日当たりでも、どんな生育条件でも、ゆっくり楽しく育ちます。その武骨な姿から、人通りの多い場所には植え付けないようにしましょう。

アガベ・ブラクテオッサ イカアガベ

高さ 1’-2’ x 幅 2’-3’ 半好日性 / 半日陰性 USDA ゾーン 8 / 15F

原産地のメキシコ北部で、石灰岩の崖の縁から垂れ下がるように大きな群落を形成するユニークな植物です。好日性、またはほぼ完全な日陰など、様々な生育条件に適応します。イカアガベの葉は壊れやすいので、周辺の清掃やレーキングを入念に行いましょう。また、水はけが良ければ、他のアガベよりも水に強いです。

アガベ・セルシー‘ノバ’ アガベ・セルシーノバ

高さ 1’-2’ x 幅 2’-3’ 好日性 / 半日陰性 USDA ゾーン 9 / 25F

直立種とは異なり、鮮やかな青色で、縁辺の歯と末端の棘が硬いのが特徴です。群生というより、単独で生育します。ノバはとても魅力的なアガベで、ほとんどの庭や風景に適しています。クリーンで洗練されたデザインで、フォーマルやモダンな景観に最適です。

アガベコロラータ アガベメスカルセニーザ

高さ 1’-3’ x 幅 2’-4’ 好日性 / 半日陰性 USDA ゾーン 8 / 15F

灰色でざらざらした質感の幅広の葉には、大きな縁取りの歯と鋭い末端の棘が見られます。砂漠のバラのような形をしており、単独で生育します。成熟すると、「横たわる」独特の習性があります。 そのため、この種の植物はとても丈夫です!丈夫なので育てやすいです。暑さ、寒さ、日照、乾燥に強いです。

アガベチャザロイ チャザロイアガベ

高さ 3-5’ x 幅 4-7’ 好日性 / 半日陰性 USDA ゾーン 9 / 30F

2007 年、メキシコのハリスコ州テキーラ近郊で偶然発見されました。葉は濃い緑から青みがかった灰色で、縁は茶色で縁取りがなく、成熟するとほとんど棘がなくなります。葉は濃い緑色で青みがかった灰色です。乾燥に強いですが、少し湿った状態を好みます。

アガベ・ベネズエラ トロピカル・アガベ

高さ 2’-3’ x 幅 3’-4’ 好日性 / 半日陰性 USDA ゾーン 9 / 25F

この甘美な姿のアガベは、トロピカルという言葉がぴったりです。きれいで垂直に伸びるダークグリーンの光沢のある葉は、花を咲かせるグランドカバーの下に植えるのが簡単です。各葉に末広がりの棘がありますが、プールサイドや公共の場での栽培に適しています。また、水はけの良い土で育てれば、水にも強くなります。

アガベ・ベネズエラ・マルギナータ トロピカル・アガベ・多彩

高さ 2’-3’ x 幅 3’-4’ 好日性 / 半日陰性 USDA ゾーン 9 / 25F

トロピカル・アガベと同じように葉はセクシーなカーブを描いていますが、葉の縁は鮮やかな黄金色に彩られています。また、葉の縁は滑らかで、末端は濃い赤茶色をしています。大きな器に 1 本だけ植えてアクセントにしたり、大量に植えてローメンテナンスでミニマムな効果を出すこともできます。

アガベ・フェルディナンドレジス アガベ・ササフブキ

高さ 1’-2’ x 幅 1’-2’ 好日性 / 半日陰性 USDA ゾーン 8 / 15F

キングフェルディナンドは、短くて厚い三角形の葉でできており、縁には明るい白のストライプがあり、それぞれの葉の上部と裏面に十字の模様が残っています。葉はクイーン・ビクトリアより長く、短くてもシャープで丈夫な末広がりの棘はとても濃い色をしています。このローメンテナンスのロイヤリティは、水はけを良くし、水を少なめに与えます。

アガベ・フィラメントサ ミダレユキ

高さ 1’-2’ x 幅 1’-2’ 好日性 / 半日陰性 USDA ゾーン 8 / 15F

濃い緑色の葉の先端には鋭い棘があり、非常に引き締まった印象のバスケットボールサイズのシンメトリーな植物です。成長すると、葉の縁が剥がれ、たくさんの糸が残り、このロマンチックな植物を曖昧なものにしています。スレッドリーフは単独で生育し、最小限の手入れと水やりで十分楽しむことができます。

アガベ・フィリフェラ フィリフェラ・アガベ

高さ 1’-2’ x 幅 1’-2’ 好日性 / 半日陰性 USDA ゾーン 8 / 15F

濃い緑色の細い披針形の葉に、わずかに白い芽が刷り込まれ、約 18 インチの大きさの基部ロゼット状の株を密に形成しています。このアガベは、葉の縁が糸を引くように伸びていきます。この植物はオフセットや子株を育てることが可能ですが、あまり一般的ではありません。アガベ・フィリフェラは、コンテナの中でデザインのアクセントになります。

アガベ・フランゾシニー フランゾシニー・アガベ

高さ 6’-8’ x 幅 8’-10’ 好日性 USDA ゾーン 9 / 20F

この壮大なアガベは、白灰色の葉が中心部で最大 16 インチの幅を持ち、成熟すると優雅に折れ曲がります。アガベ・フランゾンシニーの葉の縁には、太く濃いサメのような三角形の歯があり、根茎から子株が出るので、単独でも容易に維持できます。乾燥にとても強いです。

アガベ・ゲミニフローラ ツインフラワーアガベ

高さ 2’-3’ x 幅 2’-3’ 好日性 / 半日陰性 USDA ゾーン 9 / 25F

ツインフラワーアガベは、その育てやすさ、適応性、信頼性から、どんな景観条件やデザインにも完璧に対応するアガベと考えられています。その文化的な特性だけでなく、細くて濃い緑色のまっすぐな葉が、美しい対称的な球形に形成されるという、その素晴らしい物理的特性も、きっとあなたを魅了することでしょう。

アガベ・ジェスブレイティ ジェスブレイティ・アガベ

高さ 1’-2’ x 幅 2’-3’ 好日性 USDA ゾーン 9 / 20F

この美しい品種は、幅 3-4 インチのオリーブグリーンのまっすぐな葉に、縁に淡いグレーの反り返った歯があり、少し溝があることで識別できます。葉の縁には淡いグレーの歯があり、蕾のような形をしています。アガベ・ジェスブレイティは小型から中型の植物で、かなり入り込めないほどのコロニーを形成するので、魅力的な物理的バリアが必要な場合には最適です。

アガベ・グアダラハラナ グアダラハラナ・アガベ

高さ 1’-2’ x 幅 2’-3’ 好日性 / 半日陰性 USDA ゾーン 9 / 30F

鮮やかなブルーグレーのデザートローズに、赤茶色の縁取りがとても魅力的です。この小さなアガベは、このような特徴によって、人々を魅了する有名人になりました。グアダラハラ・アガベは小さなロゼットを形成し、パティオでのコンテナ栽培や、中型の美しい砂漠の木の下に数本植えて、独特のフォーカルポイントを作るのに最適です。

アガベ・ジプソフィラ ジプスム・アガベ

高さ 2’-3’ x 幅 2’-3’ 好日性 / 半日 USDA ゾーン 10 / 30F

葉の縁に沿うようにカーブした波が内側に入り込み、ブルーグレーのアガベの中では最も深い溝を形成します。小から中くらいの大きさで、単独でも育ち、コンテナにもランドスケープにも適しています。メスキートや Sonoran Emerald ™ パロ・ベルデの木の下で、形と色のコントラストを楽しむことができます。

アガベ・ハバディアーナ
ハーバード・センチュリー・プラント

高さ 2’-3’ x 幅 3’-4’ 好日性 / 半日 USDA ゾーン 5 / -15F

テキサス州西部の大草原から堂々と姿を現すこのアガベは、ローンスター・ステートのようにタフで頑丈な植物です。葉は広く灰緑色で、縁には大きく湾曲した黒い歯があり、先端には鋭いトゲがあります。乾燥や寒さに強く、お手入れも簡単で、高所の庭に最も適した品種の一つです。 水はけのよい土壌に植えましょう。

アガベ・ホリダ ホリダ・アガベ・メキシカルメトル

高さ 2’-3’ x 幅 3’-4’ 日照 USDA ゾーン 9 / 25F

控えめなサイズで、ダイナミックな左右対称の形と生育習性を持つアガベ・ホリダは、ひときわ目立つ存在です。濃い緑色の葉は短剣のような形をしていて、縁には薄い灰色の鋭い歯が等間隔にたくさんあります。このアガベは好日性でよく育ちますが、フィルターを通した日陰でも大丈夫です。この魅力的なタフガイは、水はけの良い土壌に植える必要があります。

アガベ・レチュギラ レチュギラ・アガベ

高さ 1’-2’ x 幅 1’-2’ 好日性 USDA ゾーン 8 / 15F

アガベ・レチュギラは、チワワ砂漠のオークとジュニパーに覆われた丘陵地からクレオソートとソルトブッシュの低地まで、アガベの中で最も広い地域に生育しています。オリーブグリーンの細い葉の上に邪悪なトゲがあり、広がりながら群生しています。日当たりがよく、水はけのよい土壌であれば、ほとんど壊れることはありません。

アガベ・ロファンサ アガベ・五色万代

高さ 1.5’-2’ x 幅 2’-3’ 好日性 / 半日陰性 USDA ゾーン 8 / 15F

アガベ・ロファンサは、レチュギラに似ていて、葉はやや幅広で平たく、明るい緑色で中央にシャルトルーズ色のストライプがあります。葉の縁には赤みがかった歯があり、末端には短い硬い棘があります。花が咲いた後、「母株」は枯れますが、群生して広がる性質があるので、見逃すことはないでしょう!

アガベ・マクロアカンサ ブラックスパイン・アガベ

高さ 1.5’-2’ x 幅 2’-3’ 好日性 / 半日陰性 USDA ゾーン 8 / 15F

黒と青の美しさ。鮮やかなブルーの短い葉、縁に沿った小さな漆黒の歯、そして黒い末広がりの棘があります。左右対称の球状に育ち、根元から同じようなロゼットを形成し、見事な群落を形成します。私たちの地域の岩場の風景に植えると、まるで原産地メキシコのオアハカ州で暮らしているかのような気分になります。

アガベ・マルモラータ マルモラータ・アガベ

高さ 4’-5’ x 幅 4’-6’ 好日性 / 半日陰性 USDA ゾーン 9 / 25F

灰緑色の葉に粉をふったような灰色の帯があり、年輪のように見えることがありますが、これは年齢を反映しているわけではありません。マルモラータ・アガベの葉は、長く深い溝があり、ざらざらした質感です。葉の縁には、大きなママレード状の突起があります

アガベ・モンタナ マウンテン・アガベ

高さ 3-4’ x 幅 4-5’ 好日性 / 半日陰性 USDA ゾーン 9 / 25F

モンタナは、春になると緑色の厚い葉がロゼット状に密集し、直立して生育します。縁に沿ったテラコッタのような赤い歯と、太い末端の棘が、下葉の表面にもはっきりと刻み込まれます。単独でも育ちますが、景観やコンテナに植えると見事です。乾燥、暑さ、寒さ、痩せた土壌に強く、病気知らずです。

アガベ・マーフィー マーフィー・アガベ

高さ 2’-3’ x 幅 2’-3’ 好日性 / 半日陰性 USDA ゾーン 8 / 10F

これはマーフェイの法則で、丈夫で順応性があり、育てやすいということです。このアガベは、濃いめの緑灰色で、幅 3 インチの紐状の葉に鋭い縁取りの歯が等間隔に並んでいます。成熟すると球状になり、複数のオフセットが発生します。自然界に広く分布しているため、多くの景観に適応できる遺伝的適応力があります。

アガベ・マーフィー・マルギナータ
バリエガータ・マーフィー・アガベ

高さ 2’-3’ x 幅 2’-3’ 好日性 / 半日陰性 USDA ゾーン 8 / 15F

この品種は、その名のとおり、丈夫で育てやすい植物です。このアガベ・マーフィーは、直立種と同じように丈夫で育てやすい植物ですが、緑がかったグレーの葉の半分ほどが鮮やかな黄色で覆われているのが特徴です。このアガベ・マーフィーは、お気に入りのメスキートの木の下で、明るい色彩のスポットとなり、また、街路樹の植え込みの中で、厳しい環境に耐えることができます。

アガベ・ネオメキシカーナ ニュー・メキシコ・アガベ

高さ 1.5’-2’ x 幅 2’-3’ 好日性 / 半日陰性 USDA ゾーン 5 / -20F

葉はスチールブルーからグレーで、縁には鋭い黒い歯があり、ドラマチックなデザートローズのようなフォルムで、涼しげな印象を与えます。市販されている品種の中で、最も耐寒性の高い品種の一つです。デンバー植物園では、この美しいパリータイプのアガベの見事な例が何年も前から栽培されています。

アガベ・オカヒー オカヒー・アガベ

高さ 1.5’-2’ x 幅 1.5’-2’ 好日性 / 半日陰性 USDA ゾーン 8 / 15F

この種の発音は「オー・カウ・イー」です。この印象的な左右対称のアガベは、幅 1 インチほどの豊かな緑色の光沢のある葉を持ちます。葉の先端はミルクチョコレート色で、葉の縁は真っ白です。アガベ・オカヒーを大量に植えれば、どんな光の下でも、ドラマチックでミニマル、そしてモダンな外観を作り出します。

アガベ・オバティフォリア ウェールズ・タング・アガベ

高さ 3’-5’ x 幅 4’-6’ 好日性 / 半日陰性 USDA ゾーン 8 / 15F

ウェールズ・タング・アガベは、幅広で深い溝があり、しばしば波打つ線状の起伏を見せる葉をつけ、まるでシャムの口の中を見ているような気分にさせます。メキシコ北東部のヌエボ・レオン州北部の標高 3,700 ～ 7,000 フィートの山岳地帯に自生する、非常に魅力的なアガベです。このゆっくりと成長するアガベは、人々を魅了します。

アガベ・パラサナ デザート・ローズ・アガベ

高さ 2’-3’ x 幅 2’-3’ 好日性 / 半日陰性 USDA ゾーン 7 / 10F

他の植物にはない、しっかりとしたロゼット型のアガベ・パラサナ。葉は灰色で、基部は非常に広く、末端は灰褐色で先細りになっています。この美しい品種は、葉の縁にある棘が、非常に複雑に見える芽の跡を残しています。種から育てるので、素晴らしいバリエーションがあります。丈夫で乾燥に強く、耐寒性にも優れています。

アガベ・パリー・アガベ パリー・アガベ

高さ 1’-2’ x 幅 2’-3’ 好日性 / 半日陰性 USDA ゾーン 5 / -20F

南西部の砂漠地帯が原産で、オークやジュニパー、パインなどの下草として育ちます。水はけのよい土壌と暑さを好みます。灰緑色の葉には、かなり小さいが鋭い縁取りの歯と、黒っぽい色の長い末端の棘があります。また、耐寒性が強く、育てやすいので、アガベ・パリーは非常に人気のある植物です。

アガベ・パリー・ホーチエンシス ホーチエンシス・アガベ

高さ 1’-2’ x 幅 1’-2’ 好日性 / 半日陰性 USDA ゾーン 6 / 10F

アリゾナ州南東部のワチューカ山地の原産地から名付けられたこの品種は、灰緑色の葉を持ち、一般的にオフセットが形成されます。葉は基部が狭く、中央部が広く、アガベ・パリー・パリーよりも末端の棘に向かって鈍くなるのが一般的です。 コンテナや寄せ植えに最適です。

アガベ・バリー・トランカータ アーティチョーク・アガベ

高さ 2’-3’ x 幅 2’-3’ 好日性 / 半日陰性 USDA ゾーン 7 / 10F

アーティチョーク・アガベは、有名な野菜に似ていることから名付けられました。葉はパウダーブルーの印象的な色をしています。葉は幅広で締まっており、先端は鈍く、末広がりの黒い棘があり、独特のセクシーなカーブを描いています。アガベ・パリー・トランカータは、そのサイズ、形、色から、長い間、造園家やデザイナーに愛されてきました。

アガベ・ポタトルム バタフライ・アガベ

高さ 1.5’-2’ x 幅 2’-3’ 好日性 / 半日陰性 USDA ゾーン 10 / 32F

バタフライ・アガベは、明るいブルーグレーの葉が先端に向かって優雅にカーブし、やや開いた「花」のような効果を生み出します。葉の縁には鋭い灰色の歯がたくさんあり、その先端には 2 インチほどの長さの棘があり、とても印象的です。 メキシコ・オアハカ産のこのアガベは、適応力があり、丈夫で強靭ですが、ユニークで可憐な表情を持っています。

アガベ・ピグマエ ピグミー・アガベ

高さ 1’ x 幅 1’-1.5’ 好日性 / 半日陰性 USDA ゾーン 10 / 32F

ピグミー・アガベは、その名の通り、小さくてかわいいアガベで、白緑の葉に濃い赤っぽい歯が縁取られているのが特徴です。東側の日当たりや砂漠の木陰で、他の大きな多肉植物やグランドカバーと一緒に植えましょう。メキシコのチアパス州南部が原産で、水はけのよい土壌を好みます。

アガベ・サルミアナ グリーン・ジャイアント・アガベ

高さ 4’-6’ x 幅 6’x 10’ 好日性 / 半日陰性 USDA ゾーン 8 / 20F

光沢のある濃い緑色の葉は、長さ 7 フィート、幅 1 フィートにもなるので、少し場所を空けてあげましょう。大きな葉縁の歯と 2 インチの長さの末端棘が、そのドラマチックな外観をさらに際立たせています。大きな標本に育てるのに、それほど時間はかからないでしょう。グリーン・ジャイアントは、水はけが良い場所であれば、水を多く与えても大丈夫です。

アガベ・サルミアナ・フェロックス
アガベ・サルミアナ・フェロックス

高さ 3’-4’ x 幅 4’-5’ 好日性 / 半日陰性 USDA ゾーン 7 / 10F

メキシコのシウダー・ビクトリアの北にあるシエラ・チャキータ山脈でユッカ・ドーナーセリーが見つけたこのアガベは、濃い緑の光沢のある葉と鋭い縁の歯、長い末端の棘を持つストレート種に外観が似ていますが、サイズが小さく、より耐寒性に優れています。サルミアナと同じ栽培条件を備えています。

アガベ・サルミアナ・バリエガータ
バリエガータ・アガベ・サルミアナ

高さ 4-6’ x 幅 4-6’ 好日性 USDA ゾーン 8 / 25F

アガベ・サルミアナ「バリエガータ」は、この大きな兄弟をドラマチックに彩った品種です。葉は大きく開いたロゼットで、長さ 3 フィート、幅 15 インチまで、硬く肉厚で光沢のある深緑色に明るい黄色の帯が入ります。黒褐色の縁取りの棘と長い末端の棘が特徴。成熟した株は、鳥やハチを魅了する黄色の燭台のような花を咲かせます。

アガベ・シャークスキン シャークスキン・アガベ

高さ 1’-2’ x 幅 1’-2’ 好日性 / 半日陰性 USDA ゾーン 9 / 20F

フェルディナンディ・レギスとスカブラの交配種で、その質感と色合いから「シャークスキン」と呼ばれるようになりました。オリーブグリーンの厚い三角形の葉は、滑らかで黒く縁取られていますが、短い鋭い棘で武装しています。シャークスキン・アガベは成長が遅く、水をほとんど必要としません。アガベの真髄を味わうことのできる観賞植物です。

アガベ・サイザルアサ サイザル・ヘンプ・アガベ

高さ 3’-6’ x 幅 6’-12’ 好日性 / 半日陰性 USDA ゾーン 10 / 32F

葉は長く肉厚で、幅約 3 インチ、根元から垂直に伸びていきます。しかし、成長すると、葉がほぼ水平に広がるオープンロゼットを形成し、先端から先端まで 12 フィートという驚くべき大きさにまで成長します。サイザルはかなり成長が早く、水はけがよければもっと水を欲しがりますが、霜から守る必要があります。

アガベ・テキラナ ウィーバー・ブルー・アガベ

高さ 4’-5’ x 幅 4’-5’ 好日性 USDA ゾーン 10 / 32F

アガベ・テキラナは、蒸留酒テキーラのベース原料として使用さ れます。アガベは成長が早く、3 〜 4 フィートの細長い葉は美しい色合いのブルーグレーで、茶色の鋭い末端の棘と縁の歯があります。株元から数メートル離れた場所に子株を出すので、少し場所を空けてあげましょう。潅水はほとんどせず、凍結から保護します。

アガベ・チタノタ チョーク・アガベ

高さ 1’-2’ x 幅 1.5’-2’ 好日性 USDA ゾーン 7 / 10F

センチュリー・プラントというより、ユッカに似たこのアガベは、細長く硬い葉を持ち、オリーブグリーンからグリーングレーの色調で、条件によってはチョーク状の霞がかかることもあります。葉は細長く硬く、オリーブグリーンとグリーングレーの 2 色。栽培は簡単で、適応力があり、丈夫な植物です。

アガベ・フェリペ・オテロイ チタノタ・アガベ

高さ 1’-2’ x 幅 2’-3’ 好日性 / 半日陰性 USDA ゾーン 9 / 25F

葉の縁が広く白いため、葉全体を包んでいるように見え、長くねじれた鋭い歯がアクセントになっていることから、容易に見分けることができます。葉は粉っぽい灰緑色で、基部は狭く、5-6 インチまで大きく広がります。小さな個体ですが、自由に「子株」を作り、大きな塊になります。低めの鉢に植えるとインパクトのあるビジュアルになります。また、人気のチタノタには、ブラック&ブルー 1、ホワイトアイス 2 という芸術的な名前の品種もあります。

アガベ・ビクトリア・レジーナ クイーン・ビクトリア・アガベ

高さ 0.5’-1’ x 幅 1’-2’ 好日性 / 半日陰性 USDA ゾーン 8 / 15F

アガベ・ビクトリア・レジーナは、まさにアガベの女王と呼ぶにふさわしい品種です。葉は短く、厚く、濃い緑色の三角形で、末端は灰色から黒色の棘があります。葉の縁は白く、葉の上下に十字の模様があります。このレディーは、人々を熱狂的なアガベコレクターに誘惑します。

アガベ・ビリモリニアナ オクトパス・アガベ

高さ 3’-4’ x 幅 3’-5’ 好日性 / 半日陰性 USDA ゾーン 9 / 25F

オクトパス・アガベは、その順応性とサイズ、そして歩行者に優しい葉の形から、最も人気のあるアガベのひとつです。長く伸びた葉は、様々な方向に曲がって、より興味を引き、注目を集めます。単品でも大量でも使えます。アガベ・ビルモリニアナはよく馴染みます。

アガベ・ウェベリ ウェーバー・アガベ

高さ 4’-6’ x 幅 6’-8’ 好日性 / 半日陰性 USDA ゾーン 8 / 15F

ウェーバー・アガベの成長した健康な姿を見れば、アガベ愛好家なら垂涎ものでしょう。明るい銀色の青い葉は、長さ 6 フィート、幅 8 インチの大きさにまで成長し、端の歯はほとんどありません。ウェーバー・アガベは高温多湿を気にしませんが、未熟なうちは反射熱でやけどをします。どんな風景にもぴったりなコントラストです。

アガベ・ウェベリ・‘アリゾナスター’
アリゾナスター・アガベ

高さ 3’-4’ x 幅 4’-6’ 好日性 / 半日陰性 USDA ゾーン 8 / 20F

アリゾナスター・アガベは、葉の中心部は一般的なシルバーブルーのストレートタイプですが、「アリゾナスター」はエッジの広いバタリーイエローストライプで注目されます。光り輝く洗練されたアリゾナスターは、プールサイドのコンテナやプレミアムな商業プロジェクトに最適な品種です。

アロエ

アロエ

アロエ・ベラは、全世界で最もよく知られ、認識されている植物の一つです。どの国でも、どの言語でも、人々はこの名前からすぐに薬用としての用途や特性を連想します。アロエの長い民族植物学の歴史は並外れたものですが、そのダイナミックな葉や形、美しい花も見逃してはいけません。コンテナやロックガーデンに最適な小型のロゼット植物から、大胆なアクセントプランティングに最適な大型の樹木型植物まで、ユニークな植物を数多く栽培し、提供しています。このページでは、あなたのプロジェクトに最適な植物を選ぶために必要な、説明、写真、栽培条件についてご紹介します。

アロエ・バーバデンシス アロエ・ベラ

高さ 2’-3’ x 幅 2’-3’ 好日性 / 半日陰性 USDA ゾーン 9 / 25F

このアロエは、他のすべてのアロエを定義するものです。アロエ・バーバデンシスは、最終的に、肉厚で灰緑色の葉を持つ茎のないロゼットの塊を形成します。栽培が簡単で、ほとんど手入れを必要とせず、乾燥にも強いので人気があります。花色は様々で、黄色（薬用アロエ）またはオレンジ色の 1 インチほどの筒状の花を、3 フィートほどの高さの魅力的な花序に咲かせます。

アロエ・ブレビフォリア 竜山・アロエ

高さ 0.5’-1’ x 幅 1’-2’ 好日性 / 半日陰性 USDA ゾーン 9 / 25F

この小さなトゲのあるアロエの群生を見ると、「かわいい！」と言う人がいます。アロエ・ブレビフォリアは、太くて短い三角形の灰緑色の葉を持ち、葉の縁と裏側には白っぽい色のトゲがあるのが特徴です。晩秋から冬にかけて、中央から 2 フィートほどの茎を伸ばし、ハチドリを魅了する淡い赤やオレンジの 1 インチほどの花を咲かせます。

アロエ・‘ブルーエルフ’ ブルーエルフ・アロエ

高さ 1’-1.5’ x 幅 1.5’-2’ 好日性 / 半日陰性 USDA ゾーン 8 / 20F

このアロエの交配種は、ブルーグレーの引き締まったアップカーブの葉と、一貫した球状の形状で人々に賞賛されています。低い位置からゆっくりと広がっていきます。冬から早春にかけて、枝分かれしていない花茎をとげのある葉の上に約 1 フィート伸ばし、人目を引く濃いバーントオレンジの筒状の花を咲かせます。水はけのよい土壌で、暑い時期には適度に水を与えてください。

アロエ・ディコトマ ディコトマ・ツリー・アロエ

高さ 10’-30’ x 幅 3’-8’ 好日性 / 半日陰性 USDA ゾーン 10 / 32F

樹皮が剥離したような模様のある幹に、多枝の葉のついた頭を形成し、ゆっくりと成長する高木のアロエです。葉は幅 2 インチ、長さ 1.5 フィートの白緑色の披針形で、縁には小さな黄褐色の歯があるのが特徴です。花はカナリアイエローで、1 インチの筒状、長さ 3 フィートのパニクル状。水はけのよい土壌を必要とします。水のやりすぎに注意しましょう。

アロエ・フェロックス ケープ・アロエ

高さ 6’-8’ x 幅 3’-4’ 好日性 / 半日陰性 USDA ゾーン 9 / 20F

ケープ・アロエは、肉厚の披針形の葉が密集したロゼットを形成し、オリーブグリーンの葉には赤茶色の鋭い歯があり、茎が太くなります。秋から冬にかけて、柿のようなオレンジ色の筒状花が咲き乱れる、高さ 4 フィートの見事な多枝咲きのパニクル。水はけのよい土壌で、大量に植えてドラマチックに演出することも、単品で植えることもできます。

アロエ・‘グラッシー・ラジー’ グラッシー・ラジー・アロエ

高さ 0.5’-1’ x 幅 1’-2’ 好日性 / 半日陰性 USDA ゾーン 9 / 25F

草のような細い葉の縁に小さな歯があるアロエです。群生力が強いので、中央分離帯のような狭い場所での植栽に適しています。日照時間が長いとブロンズ色になり、日陰では緑色になります。高さ 2 フィートの枝分かれしない花茎に、柔らかいオレンジ色の筒状の花を 1 年中咲かせます。

アロエ・‘ヘラクレス’ ヘラクレス・ツリー・アロエ

高さ 25’-40’ x 幅 15’-20’ 好日性 / 半日陰性 USDA ゾーン 9 / 20F

ディコトマとバーベラエの交配種で、樹上性アロエです。成熟したヘラクレスは、樹皮のような太い幹の上に、長く広く三角形の濃い緑色の葉の大きなロゼットが並ぶ、生きた彫刻のような姿になります。このアロエは堂々としたサイズとボディのフォルムで、サーモンカラーのチューブ状の花を咲かせます。水はけの良い土に植え、水をやり過ぎないようにします。

アロエ・マルロシー 鬼切丸（マウンテン・アロエ）

高さ 6’-15’ x 幅 5’-10’ 好日性 / 半日陰性 USDA ゾーン 9 / 20F

アフリカ南東部原産の山アロエ。葉の縁に沿った赤褐色の鋭い歯が、日陰や表面にその個性を際立たせています。青緑色の長い葉は基部が広く、渦を巻くように成長し、幹の周りには古くなった葉が自然な形で残っています。秋から冬にかけて、燭台のような形の茎から、オレンジから黄色の 2 インチの花を咲かせます。

アロエ・ノビリス 不夜城（ゴールデン・トゥース・アロエ）

高さ 1’-2’ x 幅 1’-3’ 好日性 / 半日陰性 USDA ゾーン 9 / 20F

ゴールデン・トゥース・アロエは、短くて明るい緑色の三角形の葉に、金色で鋭い小さな歯がある、素晴らしいマウンド形成のアロエです。成熟すると、高さ 1 フィートの高さまでしっかりとした配列で枝分かれした葉を出します。春から夏にかけては、葉の上に長さ 2 インチほどの桜色の花を密に咲かせます。

アロエ・‘ルーイカッピ’ 赤ずきん・‘ルーイカッピ’

高さ 0.5”-1’ x 幅 3’-6’ (群) USDA ゾーン 9 / 25F

このアロエのヒロインは、低地砂漠の脅威的な暑さを克服するために、群生を形成します。明るい緑色の三角形の葉には、薄い斑点があり、きれいに先が細くなり、縁には歯が広くついています。このアロエは、一年を通して自由に花を咲かせることができ、茎に赤火かき棒のような、燃えるような赤い花を咲かせます。物語に登場するような仕上がりです。

アロエ・ルビオラセ アラビアン・アロエ

高さ 2-3’ x 幅 4-6’ 好日性 USDA ゾーン 8 / 25F

イエメン原産のアラビアン・アロエは、2 フィート幅の厚い葉が、重い茎から出て、まるで日照セットのように青緑色から紫色へと魔法のようにグラデーションしているのが特徴です。この茎は時間とともに伸び、その根元から新しい芽が出て、広大な群落を形成します。冬には茎の上に朱赤色の花を密集して咲かせます。

アロエ・サファリ サファリ・アロエ

高さ 1-1.5’ x 幅 3-3.5’ Full / 半日 USDA ゾーン 9 / 25F

熱帯の日の出を思わせるような、オレンジピンクとクリームの 2 トーンの大きな花穂が特徴的な、コンパクトで暑さと乾燥に強い、繰り返し咲くアロエです。多肉植物のような緑色の葉は、柔らかい歯があり、直立し、広がります。ロックガーデンのアクセントになります。グランドカバーとして大量に植えると、とても美しいです。
花の種類：オレンジ、ローズ、サンライズ

アロエ・サポナリア ソープ・アロエ

高さ 1’-2’ x 幅 1’-2’ 好日性 / 半日陰性 USDA ゾーン 9 / 25F

濃い緑色の多肉植物の三角形の葉には、長く鋭い歯があり、全体に明るい色の横縞の虎模様があります。このアロエは、連続したマットを形成します。秋から冬にかけて、2 フィートの高さの枝分かれした花序の上に、サンゴ色の筒状花が咲きます。乾燥や寒さが続くと、葉が銅のような色になることがあります。

アロエ・シンカタナ シンカタナ・アロエ

高さ 1’-2’ x 幅 2’-3’ 好日性 / 半日陰性 USDA ゾーン 9 / 25F

シンカタナ・アロエは、生育条件によって、葉にわずかに斑点が入り、緑色や紫がかったバラ色になることがあります。小さなコロニーを形成し、多くの分枝を持つ基部のロゼットで構成されています。葉の上に 1 フィートほど伸びた茎に、カナリアイエローからオレンジ色の花を咲かせます。このアロエは適応性が高く、育てやすいです。

アロエ・ストリアータ ジコウニシキ（コーラル・アロエ）

高さ 2’-3’ x 幅 2’-3’ 半好日性 / 半日陰性 USDA ゾーン 9 / 25F

淡い緑色の幅広の葉には、基部から先端にかけて茶色い線が入ります。葉は肉厚で、葉縁に歯がなく、しばしばピンク色を帯びます。葉は肉厚で、葉縁には歯がなく、しばしばピンク色を帯びます。冬から春にかけて、葉の上に 2 インチの珊瑚色の筒状花を咲かせ、印象的な繖形花序を作ります。

アロエ・‘トパズ’ トパズ・アロエ

高さ 1’-2’ x 幅 2’-3’（群） 半好日性 / 半日陰性 USDA ゾーン 9 / 30F

トパズ・アロエは、夏の終わりから冬にかけて、低地の砂漠地帯で花を咲かせます。濃いオレンジ色から赤色の長く尖った花穂が、葉から 1 フィートほどの高さにある一本の茎につきます。葉は鮮やかな緑色で、トロピカルな雰囲気と柔らかさがあります。このソフトな葉は、より多くの水を補い、生き生きとした外観を保つための手入れを好みます。

アロエ・バリエガータ 千代田錦（タイガーアロエ）

高さ 0.5’-1’ x 幅 1’-2’ 好日性 / 半日陰性 USDA ゾーン 9 / 25F

南アフリカ原産の小型のアロエで、茎がなく、縞模様があり、丈夫なのが最大の特徴です。濃緑色の厚い三角形の葉肉には、不規則な帯状の白い斑点があり、縁には短く白い鋸歯があります。冬には茎の上にサーモンピンクの筒状の花を咲かせます。冬の水やりは控えめにしましょう。

アロエ・ウィッケンシー ウィッケンシー・アロエ

高さ 2’-3’ x 幅 2’-4’ 好日性 / 半日陰性 USDA ゾーン 9 / 25F

冬から早春にかけて、赤い火かき棒のような印象的な花を、5 フィートの高さの花序に咲かせます。披針形で淡い緑色の長い葉の縁には、茶色い短い歯があり、この歯がロゼットを形成しています。水はけのよい土壌で、岩場や暑い砂漠地帯に自生しています。

カクティ

カクタセア

英語には、ある集団を否定的に特徴づけたり、偏見で判断したりする言葉があります。「サボテン」という言葉がそのような言葉になりえます。皮下注射器のようなサボテンの棘をイメージしてネガティブに反発する人もいますが、教育によって啓蒙されることもあります。中には鋭い棘を持つものもありますが、それだけでサボテンを一括りにしないほうがいいかもしれません。私たちと同じように、多様な植物の彫刻として、風景の舞台に堂々と飾られているのです。このユニークな植物は、私たちよりも先に存在し、私たちがいなくなった後もずっと存在し続けるのです。この本で、その進化の完璧さと美しさを理解し、受け入れ、そして驚嘆してください。

ベンケイチュウ（カルネギエア・ギガンテア） サグアロ

高さ 20’-60’ x 幅 2’-15’（最大記録は78’） 好日性 USDA ゾーン 9 / 25F

ソノラ砂漠の最も象徴的なシンボルです。幅の広い肋骨状のトゲ柱の最上部にある組織からゆっくりと成長します。約 60 ～ 80 年で、特徴的な腕が発達し始めることができます。晩春には、大きな漏斗状の白い花の房が各柱の先端に現れます。繊細な組織を焼かないように、植物をそれまで育てていたのと同じ北の方角に向けることが重要です。

オールドマン・カクタス オキナマル

高さ 15’-45’ x 幅 1’-6’ 好日性 USDA ゾーン 9 / 25F

メキシコ原産のサボテンで、白い毛に覆われていることからオールドマンと呼ばれています。しかし、この白い毛皮は、実は強い日差しや霜から身を守るための棘が変化したものです。この白い毛の下には、鋭い黄色のトゲが隠されています。成長が遅く、水のやり過ぎに注意すべき植物です。景観のコントラストに優れています。

セレウス・ベルビアナス 鬼面角

高さ 10’-20’ x 幅 6’-12’ 好日性 USDA ゾーン 9 / 25F

大型で頑丈な円筒タイプのサボテンで、深い肋骨があり、通常は根元から枝分かれして、空に向かって伸びる大きな燭台のような植物を形成します。涼しげな緑色のワックス状の果肉は、白いややぼやけた乳輪から肋骨に沿って棘で保護されています。春には大きな漏斗状の白い花が咲き、赤いリンゴのような大きな実がなります。

セレウス・ペルビアヌス・‘モンストロサス’ ガンセキジン

高さ 15’-25’ x 幅 8’-15’ 好日性 / 半日陰性 USDA ゾーン 9 / 25F

青緑色の柱状サボテンで、深い筋肉質の肋骨がゴツゴツしているのが特徴です。枝の太さは通常 4 インチで、根元から分岐します。棘は針状で、長さ 1 インチ近くあり、肋骨の裂け目から生えています。ゆっくりと成長し、大きな樹形のサボテンを形成します。水はけのよい土壌で、生育期間中は適度な水やりに耐えます。

セレウス・ペルビアヌス・‘スピラリス’ ツイスト・セレウス

高さ 10’-20’ x 幅 6’-10’ 好日性 / 半日陰性 USDA ゾーン 9 / 25F

青緑色で、4 インチ幅の柱状に生長し、直立種のセレウスに似ていますが、この形は肋骨が大きくねじれ、縦に伸びます。床屋のポールにトゲが生えたようなイメージです。どの角度から見ても美しいです。この植物は、風景の中で印象的な特異な標本植物になります。春から秋にかけて、クリーム色の大きな花を咲かせます。

クレイストカクツス・ストラウシイ 吹雪柱

高さ 4’-6’ x 幅 2’-3’ 好日性 / 半好日性 USDA ゾーン 9 / 25F

銀白色の毛が密生していることから、この名前が付けられました。この縦長のサボテンは、2 インチの厚さの複数の柱を形成し、密接に配置された乳頭から黄色がかったトゲがあります。ボリビアとアルゼンチンの砂漠地帯が原産です。早春に成熟した円柱の頂上付近に、驚くほど鮮やかな赤い筒状の花を咲かせ、通常 5 月頃まで続きます。

エキノカクタス・グルソニー キンシャチ

高さ 1’-3’ x 幅 1’-3’ 好日性 / 半好日性 USDA ゾーン 9 / 25F

この有名な金色の棘のあるボール状のサボテンは、大量の水を蓄える能力があり、水を吸収すると肋骨が浅くなります。黄色いトゲは下から上に向かって縫い合わされ、そこに魅力的な黄色い花が咲きます。ゴールデンバレルは育てやすく、土質も選びません。ただし、冬に水をやりすぎないようにしましょう。

エキノカクタス・エンゲルマニー ヤマアラシ

高さ 1’-2’ x 幅 1’-3’ 好日性 / 半好日性 USDA ゾーン 8 / 10F

ユタ州北部、カリフォルニア州東部、ネバダ州、アリゾナ州、メキシコに至る南西部の広い地域に自生する、小型で塊状になる丈夫なサボテンです。毎年春になると、長い棘のある丈夫なサボテンに、幅 3 インチほどのマゼンタから紫色の花が円筒状の枝の先端に咲き、その美しさを和らげます。

エキノカクタス・ペクチナタス
テキサス・レインボー・カクタス

高さ 0.5’-1’ x 幅 4”-0.5’ 好日性 / 半好日性 USDA ゾーン 8 / 15F

シンプルで洗練された印象の小サボテンです。単生あるいは数本の円柱状の枝を地表近くに伸ばしています。扁平な櫛状のトゲが茶色、白、ピンクから赤の虹のような色をしていることから、この名前がつきました。夏には、マゼンタからラベンダー色の花を、帽子をかぶったように 5 インチほどの大きさで咲かせ、サボテンそのものを矮小化するように見えます。

エキノケレウス・トリゴロチディアタス センシエビ

高さ 1’-3’ x 幅 1’-5’ 半好日性 / 半日陰性 USDA ゾーン 6 / 5F

太い円柱状の枝がたくさん出て、その縁にはたくさんのトゲがある、エキノセレウスの大型の寄せ植えタイプです。春にはカップ状の花房をつけ、濃いオレンジ色から緋色の花を 3 日間ほど咲かせます。クラレットカップは、多幹の砂漠の木々の下草として、草と一緒に植えます。

エスポストア・ラナタ
ホワイト・ペルービアン・オールドマン

高さ 5’-12’ x 幅 2’-5’ 好日性 / 半好日性 USDA ゾーン 9 / 25F

ハンサムで格調高く、銀白色の絹のような毛に覆われ、2-3 インチの長い黄色のトゲを持つ縦型の柱が特徴です。ゆっくりと成長し、最終的には 12 フィートの高さの多枝になります。ペルー北部の原産。夜行性で、各柱の頂上付近に 2 インチの白い花が咲き、その後、多肉質の赤い実がなります。

エスポストア・メラノステレ
ブラウン・ペルービアン・オールドマン

高さ 4’-6’ x 幅 1’-3’ 好日性 / 半好日性 USDA ゾーン 9 / 25F

この珍しいサボテンは、根元から枝分かれして、太さ 3-4 インチの円柱を伸ばし、長さ 1.5 インチの金色のトゲがあり、成熟すると黒っぽく変色していきます。このペルヴィアンの保護コートを形成するフィラメントは、茎に対してより密な、網状のマットを作るようになります。花は長さ 2 インチで、上部付近は白色である。果実はベリーのような形をしています。

フェロカクタス・エモリー・レクティスプラナス
ロングスパイン・バレル・カクタス

高さ 1’-5’ x 幅 1’-3’ 好日性 / 半好日性 USDA ゾーン 9 / 25F

バハカリフォルニアやメキシコに分布するバレルカクタスの一種で、長さ 3-4 インチ、中央の特異な棘が深い赤色をしているので、ストレート種と見分けがつきます。また、8-12 本の短い鋭い放射状の棘は、反り返った形をしており、手強い存在です。この赤い棘は、この頑丈な樽型サボテンのダスティグリーンの肉色を際立たせるアクセントになっています。

フェロカクタス・グラウケスケンス 王冠竜（ブルーバレル）

高さ 1’-2’ x 幅 1’-2’ 好日性 / 半好日性 USDA ゾーン 9 / 25F

ブルーバレルはフェロカクタスの中で最も目を引く品種のひとつです。鮮やかなブルーグレーとゴールデンイエローの棘が肋骨の縁を走り、対称的な丸い形が魅力的な品種です。洗練され、整然としたこの小ぶりの青い宝石は、しばしばマスモダンなランドスケープデザインに使われます。 明るいゴールドの漏斗状の花は、晩春から夏にかけて咲き続けます。

フェロカクタス・ラティスピヌス
日の出丸（デビルズ・タング）

高さ 1’-2’ x 幅 1’-2’ 好日性 / 半好日性 USDA ゾーン 9 / 25F

この深い緑色の樽は、少しずんぐりとした丸い形をしています。未熟な株には、15 本から 20 本のオフセットした肋骨に沿って、ぼんやりとした白い斑点があり、黄色い放射状の棘が 12 本、赤い中央の棘が 6 本あります。夏の終わりに、光沢のある漏斗状のマゼンタ色の花を咲かせます。

フェロカクタス・プリングレー
メキシカン・ファイアー・バレル

高さ 1’-3’ x 幅 1’-2’ 好日性 / 半好日性 USDA ゾーン 9 / 25F

メキシコ中央部に自生するバレルの真骨頂で、それゆえ一般的な名前となっています。根元から枝分かれし、ゆっくりと成長し、燃えるような赤から紫色のトゲで覆われた厚さ約 1 フィートのマルチリブコラムの大きな塊を形成します。春から初夏にかけて、株の上部に黄色い花を咲かせ、その後、丸い黄色の果実をつけます。

フェロカクタス・ウィスリゼニー
キンセキリュウ（フィッシュフック・バレル）

高さ 1’-5’ x 幅 1’-2’ 好日性 / 半好日性 USDA ゾーン 8 / 15F

アリゾナ州からニューメキシコ州南部に自生するバレル・サボテンです。20 ～ 30 本の深くて広い間隔の肋骨からなる一本の太い柱として生長します。縁には大きな円孔があり、2-4 インチの長さの放射状の棘と、先端が鉤状になった茶色っぽい中央の棘があります。春に橙赤色の花を咲かせ、夏には大きくて肉厚の黄色い果実をつけます。

ロフォセレウス・スコッティ 上帝閣（セニータ）

高さ 10’-20’ x 幅 8’-12’ 好日性 USDA ゾーン 9 / 25F

アリゾナ州南部とバハカリフォルニアに自生する、ほとんど茎のない燭台型のサボテンで、直径 3-4 インチ、5-9 本の肋骨がある多数の垂直なトゲのある腕で巨大に成長することができます。成熟すると、乳輪にブラシ状の毛が密生し、独特の茶色がかった灰色になります。セニータは成熟すると、非常に乾燥に強くなります。

ロフォセレウス・スコッティ・‘モンストローサ’
福禄寿（トーテムポール）

高さ 6’-10’ x 幅 4’-8’ 好日性 / 半好日性 USDA ゾーン 9 / 25F

ロフォセレウス・スコッティ――セニータ・サボテンの無茎、遺伝子変異のゴツゴツ&ボコボコした感じの個体です。このユニークな無茎性柱状サボテンは丈夫で頑丈ですが、成長が遅いのが難点です。時間が経つと、大きく、堂々とした、ドラマチックな姿になります。小さなサボテンと一緒に植えるのがおすすめです。

マミラリア・コンプレッサ
数百の母（マザー・オブ・ハンドレッド・カクタス）

高さ 6”-9” x 幅 3”-5” 好日性 / 半好日性 USDA ゾーン 9 / 25F

マザー・オブ・ハンドレッド・カクタスはゆっくりと成長し、最終的には小さな球状の茎を持つ塊を形成します。100 個は無理でも、たくさんできるかもしれません。8 から 13 スパイラルに濃い緑の結節の非常に興味深いパターンは、1 から 2 インチの長さに鋭い棘で武装したアレオールと白い、毛むくじゃらの剛毛を持っています。花は、ピンクから赤紫色まで、さまざまな色で咲きます。

マミラリア・ゲレロニス
利休丸（シリンドリカル・ピンクッション・カクタス）

高さ 0.5’-1.5’ x 幅 0.5’- 1.5’ 好日性 / 半好日性 USDA ゾーン 9 / 25F

このマミラリアはメキシコ南東部原産の単葉または複枝のマウンド型サボテンです。白い剛毛のトゲが密生し、毛むくじゃらのように見えます。春になると、柱頭の下 1 センチのところにある乳輪の間に、短いが派手な赤い花を咲かせます。成長が遅く、耐暑性、耐乾燥性に優れています。冬は乾かし気味に管理します。

ミルチロ・カクタス・ゲオメトリザン
リュウジンボク（ブルー・ミルチロ・カクタス）

高さ 3’-10’ x 幅 3’-5’ 好日性 / 半好日性 USDA ゾーン 9 / 25F

メキシコ南部では、高さ 20 フィート、幅 25 フィートに達することもあります。栽培では、より小さく、より扱いやすくなる傾向があります。成熟した茎は木質化し、鱗片状の幹を形成しますが、腕の先端は明るい青緑色を保っています。各アームの肋骨に沿って、短い灰色のトゲが広い間隔で生えています。夏場は軽い水やり、秋冬は水やりを避けます。

ミルチロ・カクタス・ゲオメトリザン・‘クレスト’
クレスト・ブルー・ミルチロ

高さ 3’-10’ x 幅 3’-5’ 好日性 / 半好日性 USDA ゾーン 9 / 25F

植物の成長組織に筋交いができて、扇形や波状、節くれだった面白い異常な成長をすることがあります。クレスト・ブルー・ミルチロは、このタイプの維管束変異を持つサボテンです。この面白い変異を維持するために繁殖させるのです。ストレート種と同じ栽培条件です。

オプンティア・アカントカルパ バックホーン・チョラ

高さ 3’-6’ x 幅 4’-6’ 好日性 USDA ゾーン 8 / 15F

バックホーン・チョラは、メキシコ、アリゾナ、カリフォルニア原産で、ネバダ、ユタの低地砂漠に移行した低木でトゲのあるサボテンです。長さ約 1 フィート、太さ 1 インチの円筒形のジョイントが複数分岐し、その周りを 10-12 個の灰褐色の鋭い棘のアホールで囲まれています。 栽培は簡単ですが、冬の間は水のやりすぎに注意しましょう。

オプンティア・アーティキュラータ・‘シリンガカンタ’
ホワイト・ペーパースパイン

高さ 0.5’-1’ x 幅 1’-2’ 好日性 / 半好日性 USDA ゾーン 9 / 25F

緑色から褐灰色の松ぼっくりのような節がいくつも重なった珍しい植物です。上部のジョイントの端にある広くて薄い紙のような棘を除けば、ほとんど棘がありません。丈夫で乾燥に強く、乾燥すると「コーン」や「ジョイント」が水分を消費してやせ細りますが、水を与えると再びふっくらとします。

オプンティア・バシラリス ビーバーテールウチワサボテン

高さ 1’-2’ x 幅 1’-6’ 好日性 USDA ゾーン 8 / 15F

ビーバーの尾のように滑らかな青緑色で、パッドは楕円形からハート形をしています。自然界ではサイズ、高さ、形が様々ですが、私たちの植物は直立し、平均的な高さに成長し、グレーグリーンの色に小さくて白いグロキッドがあります。春に咲く花は、魅惑的なマゼンタの輝きを放ちます。

オプンティア・ビーグロヴィー テディベアチョーヤ

高さ 3’-6’ x 幅 2’-5’ 好日性 USDA ゾーン 9 / 25F

テディベアチョーヤは、2 インチから 5 インチの長さの薄緑色の枝を持つ多枝サボテンです。その通称は、多数の鋭い棘に覆われているため、モコモコとした金色の外観をしていることに由来します。棘の先端には微細な逆向きの棘があり、取り除くと皮膚や肉が裂けます。逆光に耐えることができるため、景観に配慮した配置が必要です。

オプンティア・エンゲルマニー ウチワサボテン

高さ 3’-5’ x 幅 3’-6’ 好日性 / 半好日性 USDA ゾーン 7 / 10F

南西部で最もポピュラーな山椒の仲間です。緑色の丸い球体に、金茶色の突起と棘があります。栽培が簡単で、適応性が高く、景観を損なわない植物であり、広がり、増殖します。花色のバリエーションも豊富です。鮮やかな黄色から桃色、濃いオレンジ色まで、さまざまな色を見つけることができます。

オプンティア・エリシアナ スパインレス・プリッキー・ペア

高さ 4-6’ x 幅 4’-6” 好日性 / 半好日性 USDA ゾーン 7 / 10F

この完全無紋のサボテンは、上の同類とは異なり、涙滴型のパッドが特徴です。また、夏には鮮やかな黄色の大きな花を咲かせ、零度までの寒さにも耐えることができます。野菜のようなパッド、サラダに加えることができる花びら、そして果物のような梨（ツナギ）の 3 種類の食べられる部分があるのです。

オプンティア・フィカス・インディカ オオガタホウケン

高さ 5’-15’ x 幅 4’-10’ 好日性 / 半日陰性 USDA ゾーン 8 / 15F

棘のない人気のオプンティアの一種で、鮮やかな緑色の肉厚な楕円形のパッドが長く続きます。インディアンフィグという名前は、夏に咲く黄色の花に続いて、ワインレッド色の大きな果実をつけることに由来しています。この植物はとても適応力があるので、ミニマリストのデザイナーは、禅タイプの庭の中心にある特異な彫刻として、あるいはドラマチックなリビングフェンスとして使用することができます。

オプンティア・フルギダ チェーン・フルーツ・チョーヤ

高さ 3’-6’ x 幅 4’-6’ 好日性 USDA ゾーン 9 / 25F

チェーン・フルーツ・チョーヤには、サボテンミソサザイの仲間の粗末な巣が飾られていることが多いです。これらの無骨なチョーヤは大きく、低木で樹木を形成するサボテンです。緑色で肉厚に見える節には、長さ 1.5 インチの灰色のトゲがかなりの格子状にあり、鳥にとって最適なのです。春にオレンジ色の花を咲かせると、ピンポン玉大の黄色い実をつけます。

オプンティア・ゴメイ オールド・メキシコ・プリッキー・ペア

高さ 4’-5’ x 幅 6’-8’ 好日性 USDA ゾーン 8 / 15F

葉の縁に不規則な起伏とスカラップがあり、薄い薄緑色の大きな葉を持つ、大きく伸びるシュラブです。晩春から夏にかけて、カラフルな黄色の大輪の花を咲かせます。属名の由来については、長年にわたって真摯な植物学者が議論してきた。オプンティアは、イチジクのような果実を意味するギリシャ語の「オプス」に由来する可能性が高い。

オプンティア・マイクロダシス・‘アルバ’
ホワイト・バニー・イヤー

高さ 1.5’-3’ x 幅 2’-3’ 好日性 USDA ゾーン 9 / 25F

「アルバ」は、他のオプンティアと同様に、楕円形から長楕円形のパッドがあり、小さな低木で広がる株を形成します。しかし、そのパッドは白い水玉模様のグロキッドで覆われており、魅力的なバニーイヤーの形を見ることができます。チョーヤのように、バニーイヤーを逆光になるように植えると、とても存在感のある植物になります。寒い季節は水を控えてください。

オプンティア・マイクロダシス・ルフィダ
ブラインド・プリッキー・ペア

高さ 2’-4’ x 幅 2’-4’ 好日性 USDA ゾーン 9 / 25F

テキサス州リオグランデバレーとメキシコ北東部が原産です。この品種は、緑がかった灰色をした花弁に、シナモン色の花弁が特徴的です。寒い時期には、丸い花弁がピンク色に変わり、春には鮮やかな黄色からオレンジ色のフリルのような花を咲かせます。他のオプンティアと同様に育てやすい植物です。

オプンティア・ヴァーシカラー スタグホーン・チョーヤ

高さ 3’-8’ x 幅 3’-8’ 好日性 USDA ゾーン 7 / 10F

アリゾナ原産の樹上型チョーヤ。長さ 1 フィートほどの節をたくさんの紫灰色の鋭い棘で囲み、ラベンダー色の後光を放ちます。花色は黄色、赤、茶色などがありますが、最も代表的なのはオレンジ色です。スタグホーン・チョーヤは、低地砂漠の景観に適した、誇り高く、耐久性のある、手ごわい植物です。

オプンティア・ヴィオラシア・サンタ・リタ
パープル・プリッキー・ペア

高さ 2’-4’ x 幅 2’-5’ 好日性 USDA ゾーン 7 / 10F

紫は王族の色であり、パープル・プリッキー・ペアは王冠をかぶるにふさわしいです。新芽は濃い紫色で、成熟した葉は鮮やかな青緑色の上に紫色が重なり、秋から冬にかけて気温が下がると葉は深いアメジスト色になります。グロキッドとトゲはほとんど黒色で、春の黄色い花を魅力的に引き立てます。

オレオケレウス・セルシアナス 山の老人

高さ 3’-4’ x 幅 3’-4’ 好日性 USDA ゾーン 8 / 15F

白くて毛深いこの柱サボテンには、4 インチほどの太さの肋骨が 10 本ほどあり、絹のような白い毛の下に隠れています。この毛の下には、たくさんの短い金色の放射状の棘も隠れていますが、中央には長さ 2 インチにもなる赤い棘があり、モコモコした外皮を突き破って出ています。このアンデスの老人は、かなり急速に成長し、アルカリ性の土壌を好みますが、涼しい時期の湿気を嫌います。

オレオケレウス・トロリー 白雲錦

高さ 1’-2’ x 幅 2’-3’ 好日性 USDA ゾーン 7 / 10F

アンデス山脈の高地に生育する南米原産の植物です。太い柱は根元から枝分かれし、小さいながらもハスキーで魅力的な塊になります。金茶色から赤みがかった長いトゲが、モコモコとしたマントの下から顔を出しています。アンデス同様、育てやすいサボテンですが、冬の涼しい季節は水を嫌います。

パキセレウス・ペクティン・アーボリギヌム
アパッチ・ワー・クラブ

高さ 15’-30’ x 幅 6’-12’ 好日性 USDA ゾーン 9 / 25F

アパッチ・ワー・クラブは、その強さで人目を引きます。メキシコ西部原産の背の高い樹木状のサボテンで、幹の太さは 6 インチから 1 フィート、10-12 本の肋骨からなり、鋭い灰色の棘が多数縦に走っています。花は白色で 3 インチの漏斗状、果実は黄色で、金色の長い剛毛がたくさん生えているウール状です。少し場所を空けて育ててください。

パキセレウス・プリングレー ブリンチュウ（カードン）

高さ 20’-40’ x 幅 10’-20’ 好日性 USDA ゾーン 9 / 25F

カードンは、ソノラ砂漠に生息する背の高い巨木です。その全体的な外観は、私たちの原産の象徴であるサワロを彷彿とさせますが、根元からより多く枝分かれしています。肋骨には銀色の棘があり、その長さは 5 インチにもなります。今すぐ植えれば、お孫さんのために立派な標本になりますよ。

ピロソケレウス・グラウケスケンス ブルー・ゴースト

高さ 12'-15' x 幅 3'-5' 好日性 / 半好日性 USDA ゾーン 10 / 32F

ブルー・ゴーストは、2-4 インチの太さの円柱が根元から枝分かれし、鮮やかな青色をしていることから、その名が付けられました。その青色は、垂直な茎の肋骨に沿った乳輪から生える羽毛状の白い毛によって強調されます。ネオンブルーのスポットライトのように、暗い玄関を照らしたり、中庭の壁にアクセントをつけたり、退屈な一角を強調したりします。

ステノセレウス・マルギナツス メキシカンフェンスポスト

高さ 3'-12' x 幅 2'-5' 好日性 USDA ゾーン 9 / 25F

誰もが一目惚れする名品です。洗練された 5-6 インチの太さの垂直な茎の根元から枝分かれし、滑らかで明るい緑色の肉を持っています。これらの柱は、5-7 本の肋骨を持つ四角い形の茎を形成し、結合した明るい白色の乳輪があります。短い棘と剛毛のような棘が、ビーズ刺繍のステッチのような印象的な直線的なエッジを作り出しています。

ステノセレウス・サーベリ アリゾナ・オルガンパイプ

高さ 12'-25' x 幅 6'-12' 好日性 USDA ゾーン 9 / 25F

この美しいパイプを通る風は、まるで音楽のように聞こえます。オルガン・パイプ・カクタスは、根元から内側にカーブした直径 6-8 インチの茎で枝分かれします。各茎には 12-15 本の浅い肋骨があり、濃い緑色に濃い茶色の乳輪がアクセントになり、灰色の星形の放射状の棘があります。暖かい季節には水を与えますが、秋から冬にかけては水やりを止めます。

テソニア・コリーン 近衛（トゥースピック・カクタス）

高さ 8'-20' x 幅 10'-15' 好日性 USDA ゾーン 9 / 25F

短い木質幹に燭台のような形の立派な樹木を形成します。灰緑色の腕は多少継ぎ足されており、長さは 1-2 フィート、先端に行くほど鮮やかな青緑色になります。この腕には浅い肋骨があるので、かなり円筒形に見えますが、肋骨には楕円形の乳頭が広い間隔であり、爪楊枝のような棘が多数あります。

トリコケレウス・キャンディカンズ 金城丸（アルゼンチン・ジャイアント）

高さ 1.5'-2' x 幅 3'-4' 好日性 / 半好日性 USDA ゾーン 9 / 25F

この植物は低木で、明るい緑色の太い円筒形の茎に、肋骨に沿って金色のトゲがあります。太い茎は 5-6 インチあり、不規則なかたちになります。春になると、大きな白い花が花束のように咲き誇り、その美しさに目を奪われます。お気に入りのデザートシェードに、この美しい植物を植えてみてはいかがでしょうか。

トリコケレウス・ハイブリッド
ジャイアント・フラワー・トリコケレウス

高さ 1.5’-3’ x 幅 3’-4’ 好日性 / 半好日性 USDA ゾーン 9 / 25F

これらの植物は、巨大な漏斗状の花を大量に咲かせ、毎朝を迎える手助けをします。この品種は、一般的な形と生育習慣は同じですが、花の色は赤、オレンジ、黄色、ピンク、桃色、白と、それぞれ異なります。茎は幅広く円柱状で、黄色い棘のある複数の肋骨があり、塊状になります。

トリコケレウス・パチャノイ サン・ペドロ

高さ 6’-15’ x 幅 3’-5’ 好日性 / 半好日性 USDA ゾーン 8 / 20F

鮮やかな緑色の垂直な茎は 2-4 インチの太さで、トゲはほとんどありませんが、肋骨に沿って小さな白いモヤモヤした穴があり、いくつかのグロキドがあります。サンペドロサボテンはエクアドルやペルーの熱帯の山岳地帯に自生しています。そのため、バード・オブ・パラダイスのような熱帯性の植物とよく合います。熱の反射が強すぎる場所ではやけどをすることがありますが、それ以外は順応性が高く、成長が早いです。

トリコケレウス・テルスチェッキー
北斗閣（アルゼンチン・サグアロ）

高さ 10’-20’ x 幅 6’-10’ 好日性 USDA ゾーン 8 / 15F

アルゼンチン北部原産の「ミニミー」サワロは、やがてサワロのように腕が伸びてきます。8 本から 14 本の肋骨で構成された 10 インチの厚さの垂直な柱を形成します。棘の長さは通常 3 インチで、8-15 本の棘が放射状と中央にあります。色は緑から灰色まで、生育状況により変化する。水はけのよい土壌に植え、冬は水を与えないでください。

ユーフォルビア

ユーフォルビアシアー

もし、あなたが SF 映画のプロダクションデザイナーなら、ユーフォルビア属の植物を選ぶことでしょう。
樹木のように大きく棘のあるもの、トゲのある角張った低木、そしてこの世のものとは思えないような豪華な花を咲かせるものなど、さまざまな種類があります。実は、ユーフォルビアと聞いて思い浮かべる派手な色は、シアチウムと呼ばれる小さなカップ状の花を囲む苞葉なのです。ユーフォルビアの珍しい身体的特徴は、剪定時ににじみ出る粘着性のある白い樹液を伴い、皮膚や目を刺激します。
だから、とにかく注意が必要です。これらの植物は、あなたを超自然的な体験へといざないますので、ぜひ読んで、あなたのランドスケープデザインに想像力を働かせてください。

ユーフォルビア・アマック・‘バリエガータ’
バリエガータ・ラッキー・カクタス

高さ 6’-20’ x 幅 3’-8’ 半好日性 / 半日陰性 / 室内環境 USDA ゾーン 10 / 32F

ユーフォルビア・アマックは縦長の柱に一対の棘があり、4 つの特徴的な肋骨に分かれています。背が高くなり、最終的には燭台のような形になります。この品種は、ペイントで撫でたようなクリームホワイトの仕上げが美しいです。砂漠の低地では、直射日光を浴びると果肉がやけどする恐れがあります。水やりは定期的に行いますが、その間は乾かし気味にします。

ユーフォルビア・アンティシフィティカ キャンデリラ

高さ 1’-3’ x 幅 2’-4’ 好日性 / 半日陰性 USDA ゾーン 8 / 15F

棘のない低木で、垂直に伸びる細い円柱状の茎がたくさんあります。春先から夏にかけて、茎の上 1/3 ほどにピンクからクリーム色の小さな花を咲かせます。高温、乾燥、放置にも耐える丈夫な植物です。チワワ砂漠の草地が原産地です。

ユーフォルビア・グランディコルニス
麒麟冠（カウズ・ホーン・ユーフォルビア）

高さ 4’-6” x 幅 3’-5’ 半好日性 / 半日陰性 / 室内環境 USDA ゾーン 10 / 32F

ラテン語の種名は「ラージ - ホーンテッド」と訳されるのも納得の、灰褐色で 2.5 インチの長さのトゲを持つ品種です。ユーフォルビアの中でも立派に枝分かれするタイプで、3 本の肋骨からなる柱状の茎は、成長するにつれて不規則に縮み、巨大なとげのあるセグメントを形成するようになります。水はけのよい土にたっぷりと水をやり、水やりの間に乾かします。

ユーフォルビア・ホリダ アフリカン・ミルク・バレル

高さ 1’-2’ x 幅 2’-3’ 半好日性 / 半日陰性 / 室内環境 USDA ゾーン 10 / 32F

未熟なうちは、緑がかった白色のとげのあるウニのような形をしています。アフリカン・ミルク・バレルは、やがて複数の枝に分かれ、直径 4-6 インチの直立した茎を伸ばし、深い翼のような肋骨がたくさんついている株になります。ファンキーで小さなシャルトルーズ色の花が、それぞれの茎の先端を包み込むように咲きます。乾燥に強く、寒い時期には最低限の水分しか与えません。

ユーフォルビア・インゲンス
チュウテンカク（キャンデラブラ・ツリー）

高さ 10’-20’ x 幅 10’-15’ 半好日性 / 半日陰性 / 室内環境 USDA ゾーン 9 / 25F

このユーフォルビアは、簡単で適応性が高いので、とても人気があります。かなり急速に成長し、タイトで垂直な、しかし燭台の形をした樹木を形成します。4 つの翼状突起に沿って、小さな対のとげがあり、明るい緑色の果肉を持っています。茎の上部に、緑色の苞に囲まれた小さな黄色の花を咲かせます。

ユーフォルビア・ミリー 花キリン（クラウン・オブ・ソーン）

高さ 3’-6’ x 幅 1.5’-4’ 半好日性 / 半日陰性 / 室内環境 USDA ゾーン 10 / 32F

中低木で、とげのある節からなり、新芽には豊かな葉が生えます。赤から橙色の鮮やかな苞葉に囲まれた小さな黄色の花を咲かせます。通称には宗教的な意味があります。栽培は簡単で、水やりの間に土を乾かすだけです。優れたクローンをお試しください。「チェロキー」――背の高い赤色の美しい品種や、「ジェリーズ・チョイス」――魅力的なマゼンタ色の矮性品種です。

ユーフォルビア・レシニフェラ
ハッカクキリン（モロッコ・マウンド）

高さ 1’-2’ x 幅 4’-6’ 好日性 / 半日陰性 USDA ゾーン 9 / 25F

ユーフォルビア・レシニフェラは、淡い緑色の多茎で葉のない四角い枝を伸ばし、その縁に小さな対になったトゲがあるマウンドを作ります。他のユーフォルビアと同様、水はけのよい土に植え、冬の間は乾かし気味に管理します。エキゾチックなモロッカンマウンドは、小さくても力強い印象を与えるので、どんなランドスケープデザインにもぴったりです。

ユーフォルビア・リギダ
ハッカクキリン（ゴーファー・プラント）

高さ 1’-2’ x 幅 2’-3’ 好日性 / 半日陰性 USDA ゾーン 7 / 10F

名前の由来であるくすんだ茶色のネズミとは異なり、灰緑色の魅力的な色をしています。茎の先端に、豆粒ほどの大きさの黄橙色の花を、シャルトルーズ色の苞に囲まれた大きな傘のように咲かせます。葉の多い茎は、この花の重さでたわみ、下垂していきます。水はけのよい土に植え、十分な量の水を与えます。

ユーフォルビア・ルイーナナ ルイーナナ・ユーフォルビア

高さ 6’-12’ x 幅 4’-8’ 好日性 / 半日陰性 USDA ゾーン 9 / 25F

インド原産のユーフォルビアで、ドゥルガーの女神のように枝分かれした腕を持つ、背が高く葉の多い樹形です。太さ 2 インチほどの柱状の枝を伸ばし、5 本の肋骨の端に短い対の棘がある。成長が早く、手入れがほとんど必要ないため、非常に人気があります。適切な水分補給により、緑色の涙滴型の葉は傘のような外観になります。

ユーフォルビア・タイレカーリィ
ミルクブッシュ（ペンシル・ツリー）

高さ 3’-12’ x 幅 3’-6’ 半好日性 / 半日陰性 / 室内環境 USDA ゾーン 10 / 32F

この珍しい植物は、保護された状態で、大きな低木に成長し、明るい緑色の鉛筆のような多肉質の枝が、格子状の茎を形成します。北国では、この適応力のある植物は鉢植えに追いやられます。枝を切り落とすことで高さや幅を調整することができますが、白い樹液が目に入らないよう、素肌に触れないように注意してください。

ユーフォルビア・タイレカーリィ・‘スティック・オン・ファイヤー’
ファイヤースティック

高さ 4’-8’ x 幅 3’-5’ 好日性 / 半好日性 / 室内環境 USDA ゾーン 10 / 32F

特別な特徴：このペンシル・ツリーは、茎の先端が緑から明るい黄色、そして燃えるような赤に変化するのが魅力的です。日照時間が長いと、より顕著に色が出ますが、反射熱が強いと、茎がやけどすることがあります。水はけのよい土に植え、冬は乾かし気味に管理します。ファイヤースティックの樹液は、皮膚や目を刺激することがあります。

ユーフォルビア・トリゴナ サイウンカク（グリーン・トリゴナ）

高さ 6’-8’ x 幅 3’-4’ 半好日性 / 半日陰性 / 室内環境 USDA ゾーン 10 / 32F

ユーフォルビア・トリゴナは、3-4 本の肋骨を持つ柱状の茎が垂直に強く伸び、それぞれの茎に複数の小粒の涙型の葉が上下に並んでいます。枝分かれが激しく、葉が付着する肋骨に沿って小さな歯のような棘があります。濃い緑色の茎に、V 字型の銀白色の帯が特徴的です。育てやすく、コンテナにも適しています。

ユーフォルビア・トリゴナ・‘ルビーレッド’
ルビーレッド・サイウンカク（グリーン・トリゴナ）

高さ 6’-8’ x 幅 3’-4’ 半好日性 / 半日陰性 / 室内環境 USDA ゾーン 10 / 32F

緑とルビーレッドの輝きが印象的な、縦長のユーフォルビアは、庭の宝石と言えます。ティアドロップ型の葉は、濃い赤紫色で、葉肉に赤色が染み込んでいます。緑の姉妹と同じ形と生長習性を持っています。トリゴナは乾燥しすぎると葉が落ちることがあります。ルビーレッドは水はけのよい土に植え、冬は乾かし気味に管理する。

サキュラント

サキュラント

「サボテンは多肉植物であるが、多肉植物はサボテンではない。」という言葉を聞いたことがあるかと思います。ここでは、サボテンではなく多肉植物でありながら、長い年月をかけて貯水能力を身につけ、乾燥した環境でも生育できるように適応した植物について説明します。このドラマチックな植物群は、トゲがあってもなくても、水と特別な関係を持っています。根が水を蓄え、幹や茎が水を蓄え、中にはユニークな葉の形を進化させて水を蓄えるものもあります。官能的な色と質感で、最近多肉植物はトレンドになっていますが、次のページでは、なぜ彼らが耐えているのかをお話しします。お楽しみください。

アデニウム・オベスム 砂漠のバラ（デザートローズ）

高さ 3’-6’ x 幅 2’-8’ 半好日性 / 半日陰性 / 室内環境 USDA ゾーン 10 / 32F

デザートローズは、肉厚の茎を持ち、棘のない幹の小木または大低木です。純白、バラ色ピンク、マゼンタなど、漏斗状の筒状花で、とても派手なディスプレイをします。アデニウム・オベサムは、コンテナ植物として適しており、その脇腹まで成長します。水はけのよい土に植え、定期的に水を与えますが、やり過ぎないように注意しましょう。霜には非常に弱いです。

アローディア・プロセラ 亜竜木（アフリカン・オコティロ）

高さ 6’-15’ x 幅 1’-3’ 好日性 / 半日陰性 / 室内環境 USDA ゾーン 9 / 25F

アフリカン・オコティロという名前からフウキソウに近いと思われがちですが、実はサボテン科に近縁です。まばらに枝分かれした背の高い蛇のような茎を持ち、絶えず棘があります。棘の間には明るい緑色の小さな葉がつきます。霜から守りながら、コンテナや地植えで育てます。

ボーカルニア・レカーバータ トックリラン（ポニーテール・パーム）

高さ 6’-15’ x 幅 4’-6’ 半好日性 / 半日陰性 / 室内環境 USDA ゾーン 9 / 25F

水を蓄える大きな尾根がとても特徴的です。ヤシの仲間とは思えないほど、細長い鮮やかな緑の葉が、むき出しの滑らかな幹から垂れ下がっていることから、多くの人はポニーテール・パームと呼んでいます。適応力があり、乾燥に強いです。コンテナに最適で、何年も根を張って生活することができます。水はけの良い土壌で、樹冠を避け、根元に水を与えます。

フルクラエア・マクドガリー フォルスアヴェ

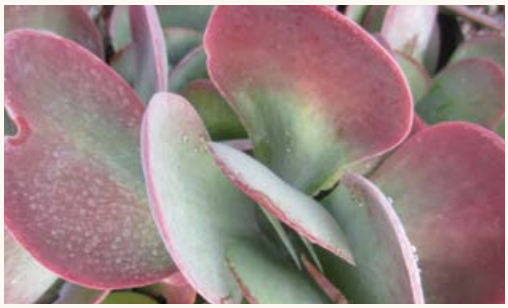
高さ 6’-12’ x 幅 6’-8’ 半好日性 / 半日陰性 USDA ゾーン 9 / 25F

グレーグリーンの剣のような長い葉は、成木になるまで基部のロゼットを形成し、太い幹を形成し始めます。背が高く、葉の幅が狭いアガベのようなこの植物は、モダンでユニークな標本として、あるいはコンテナに植えても素晴らしいです。しかし、葉の縁にある猫の爪のような鋭利な歯には注意が必要です。

カランコエ・ベハレンシス センニョノマイ（エレファントイアー）

高さ 6’-10’ x 幅 4’-8’ 半好日性 / 半日陰性 USDA ゾーン 10 / 32F

このカランコエは、ソフトでベルベットのような、マティスのような形をした緑褐色のしわくちゃな葉が、複数の枝分かれした茎に生えることで人気があり、ユニークです。乾燥に強く、育てやすい植物ですが、霜に弱いので、保護が必要です。古い葉は通常勝手に落ちてしまうので、定期的な手入れが必要です。



カランコエ・ルキア フラップジャックス

高さ 1’-2’ x 幅 2’-3’ 半好日性 / 半日陰性 / 室内環境 USDA ゾーン 10 / 32F

円盤状のパウダリーグリーンの葉が幾重にも重なり、その縁には魅力的なコーラルレッドの色彩が施されています。その漫画のような形は、コンテナやウィンドウボックスの中で他の植物とのコントラストを際立たせます。暖かいロックガーデンやレイズドベッドに植えます。水はけのよい土壌で、秋から冬にかけては潅水を控え、腐敗を防ぐことが大切です。

カランコエ・トメントーサ 月兎耳（パンダ・プラント）

高さ 0.5’-1’ x 幅 1’-2’ 半好日性 / 半日陰性 / 室内環境 USDA ゾーン 10 / 32F

種名と通称は、この多肉植物の白と黒く縁取られたモコモコの葉を表現しています。棘のない小さな植物で、丈夫ですが、葉がややデリケートで落ちやすいので、パンダを撫でようとする誘惑に負けないようにしましょう。水はけのよい岩石質の緩い土を好みますが、夏場は定期的に水やりをするとよいでしょう。

パキボディウム・ラメレイ マダガスカル・パーム

高さ 3’-8’ x 幅 1’-4’ 好日性 / 半日陰性 USDA ゾーン 10 / 32F

パキボディウム・ラメレイは、1.5 インチの鋭い 2 つの模様の棘が、太くて木質化したような緑がかった白色の幹を完全に覆っています。この邪悪な幹の上には、羽毛のような明るい緑色の長い葉が直立した房を形成しています。成熟した株は精巧なトップブランチを形成し、そのドラマチックな魅力をさらに引き立てます。乾燥に強いです。

ペディラントゥス・ブラクティトゥス スリッパー・プラント

高さ 4’-8’ x 幅 3’-4’ 好日性 / 半日陰性 USDA ゾーン 9 / 25F

ペディラントゥスという名前は、直立した多肉植物から赤い靴型の花を咲かせることから、ギリシャ語で「靴」を意味する「ペディル」と「花」を意味する「アントス」に由来しています。根元から枝分かれし、細い円筒形の緑色の茎と卵形の葉を持ち、下面の中脈は太く目立ちます。日向から明るい日陰に植え、水はほとんど与えません。

ペディランサス・マクロカルパス 怪竜（レディー・スリッパー）

高さ 3’-5’ x 幅 3’-5’ 好日性 / 半日陰性 USDA ゾーン 9 / 25F

ペディランサス・マクロカルパスは、明るいシャルトルーズ色の直立した複数の茎が、根元から四方に伸びています。夏の終わりから秋にかけて、スリッパに似た鮮やかなオレンジ色の花を咲かせます。乾燥と暑さに非常に強いですが、反射熱が強すぎると葉の表面がやけどすることがあります。年間を通じて、ほとんど手入れをする必要はありません。

サンセベリア・キリンドリカ
ボウチトセラン（アフリカン・スピア）

高さ 2’-4’ x 幅 2’-4’ 半好日性 / 半日陰性 / 室内環境 USDA ゾーン 10 / 32F

アフリカン・スピアは、円筒形の葉を持ち、長さは 2 フィートから 4 フィートで、先端には短い鋭い棘があります。濃い緑色の葉の上に、銀白色の横縞があるのが特徴です。アフリカン・スピアは、育てやすく、適応性があり、耐久性があるため、最も望ましい品種の一つです。水はけのよい土に植え、水やりの間に乾燥させるようにしましょう。

サンセベリア・トリファッシアタ・‘ハーニー’
バード・ネスト・サンセベリア

高さ 0.5’-1’ x 幅 1’-2’ 半好日性 / 半日陰性 / 室内環境 USDA ゾーン 10 / 32F

このサンセベリアは、基部にロゼットを形成し、堅く短い漏斗状の濃い緑色の葉をつけ、葉の表面には変化に富むが魅力的な銀色の横帯があります。他のサンセベリアと同様、この矮性種は栽培が容易で、適応性があります。ただし、寒い時期には安全な場所に移動できるよう、保護された場所に植えるか、コンテナに入れておく必要があります。

サンセベリア・トリファッシアタ・‘ムーンシャイン’
ムーンシャイン・スネーク・プラント

高さ 2’-3’ x 幅 2’-3’ 好日性 / 半日陰性/ 室内環境 USDA ゾーン 10 / 32F

ムーンシャインは、大胆でドラマチックな葉が特徴で、ランドスケープデザイナーの憧れの存在です。長いストラップ状の葉は、幅 15cm にもなり、美しい銀白色で、夜にはほとんど霜が降りたように光り輝きます。波打つような葉の縁は滑らかで、手入れはほとんど必要ありません。乾燥した日陰やコンテナに植え、凍結から保護します。

サンセベリア・トリファッシアタ・‘バリエガータ’
バリエガータ・マザーインロー・タング

高さ 2’-4’ x 幅 1’-2’ 半好日性 / 半日陰性 / 室内環境 USDA ゾーン 10 / 32F

この見事な植物は、背が高く、細長い剣のような葉に黄金色の縁があり、根元から垂直に立ち上がるように生長します。ゆっくりと成長し、オフセットして小さな塊になります。乾燥と暑さに強い植物ですが、日光が強すぎるとひどくやけどをします。コンテナや中庭など、凍結から保護される場所に植えると良いです。

サンスベリア・ゼラニカ デビルズ・タング

高さ 2’-4’ x 幅 1’-2’ 半好日性 / 半日陰性 / 室内環境 USDA ゾーン 10 / 32F

デビルズ・タングの葉はクロスバンドで、明るい銀緑色をしています。茎のない葉は根元から塊状に成長し、ゆっくりと増えていきます。水はけのよい土壌で、コンテナや霜の当たらない場所に植えると効果的です。このサンセベリアは、他の品種と組み合わせることで、お手入れは簡単ですが、華やかなディスプレイを作ることができます。

ARIZONA
WHOLESALE GROWERS

用語集

葯(やく): 花粉が作られる部分(雄しべの上側)

アレル: サボテン科の植物に見られる棘を持つ構造で、そこから棘が生える

無性生殖: 植物の細胞、組織または器官から植物を複製すること

開花: 花がつくこと

苞葉: 花の基部に生える葉が変化したもの。苞の形は様々で、鮮やかな色をしたものが多く、花弁に似ていることもある

コーデックス: 多肉植物や一部の多年草に見られる、膨潤し、しばしば木質化した地上部の貯水構造物

完全肥料: 窒素、リン、カリウムを含む肥料

クレスト: 茎の分裂期末期に扇状などのニョロニョロとした変形した成長構造を形成する細胞変異

栽培品種: 栽培品種に由来し、植物学的または園芸学的に重要な植物で、名称を必要とするもの

表皮: 植物の外側の保護組織

群: 近縁の植物属のグループ

属: 近縁の種のグループ

寒さ慣らし: 室内や温室で栽培された植物を、屋外の栽培環境にゆっくりと順応させること

ハイブリッド: 遺伝的に多様な両親の間の一代交配

木摺: 植物への直射日光を軽減するために、等間隔に並べた木、金属、プラスチック製のスラットで頭上や壁を保護する

分裂組織: 植物の未分化な細胞で構成され、成長が可能な組織

微気候: 局所的な温度変化のある小領域(創成または自然発生)

帰化: 植物が独立した手段で自らを広める能力

窒素: 植物が成長と生殖のためにクロロフィル、タンパク質、酵素を形成するのに必要な、最も欠乏しやすい土壌の栄養分

オフセット: 大きな成熟植物の根元で、通常はその根や茎から形成される小さな「赤ちゃん」または若い植物

病原体: 植物に病気を引き起こす細菌、真菌、ウイルスなどの微生物

リン: 植物の細胞分裂や新しい組織の成長を担うタンパク質合成を調節する重要な栄養素

カリウム: 丈夫で健康な茎を作るために必要な栄養素で、光合成に重要な役割を果たす

ロゼット: 中心部を中心に葉が密生している植物

ランナー: 「母株」の根元から伸びた細い茎や根がオフセットを形成する

種: 近縁の植物で分類学的に特徴のあるもの

花穂: 花茎が垂直に伸びていて、花が下から先に向かって咲いているもの

Spp: 属の中のすべての種を指す略称

気孔: 植物の表皮にある孔が開閉し、気体の交換を可能にする

蒸散: 気孔から水分が放出されること

下草: 木や大きな潅木の下に植えられた小さいまたは短い植物

斑入り: 葉の縁や中心部が明るく、通常白または黄色に着色している

透水: 土壌が十分に湿潤した後、土壌中を移動することができる水量

らせん: 茎の接合部または節に円形に生える葉、枝または花

ラテン/ギリシャ

一般的な名前は発音しやすいのですが、園芸のプロにとってはメリットよりも障害になることがあります。完全な説明がなく、2 つ以上の全く異なる種に使われることがあり、さらに混乱を招くのが地域によって変わることです。

ラテン語は、植物の科学的な命名と記述のために利用される言語です。時代です。学習方法をゲーム化すれば、ほとんどの人がラテン語の名前を勉強することですぐに理解し、植物に関する重要な手がかりを引き出せるようになります。

ラテン語には厳格なルールがありますが、発音にストレスを感じないようにしましょう。月見草（オノセラ）は、「Oh-noth-er-a（オ・ノス・エ・ラ）」または「Ee-No-ther-a（エー・ノ・セ・ラ）」と発音しても、何の植物か正確に伝わると思います。

ウィリアム・T・スターンズ著の植物学ラテン語によると、簡単で役立つ発音のルールがいくつかあります：

- 母音は長いか短いかのどちらかです。
- 2 つの母音を一緒に含むことができる名前は、二重母音と呼ばれます。

ae, au, ei, eu, oe または ui

Meat（ミート）の ea として ae を使用
Awl（アウル）の aw として au を使用
Height（ハイト）の ei として I を使用
Ewe（イウ）として eu を使用
oi は Toil（トイル）の oi、ee は Bee（ビー）の ee として使用。
ui はフランス語の Oui（ウイ）のように、または ui は Ruin（ルイン）のように使用

- greggii（グレギー）のような ii で終わる単語は greg-ee-i（グレグ・ィ・ー）と発音します。どちらも長音です。
- 通常、数音節の単語では、声帯ストレスは最後から 2 番目の母音にかかりますが、自然に聞こえるものであれば何でもかまいません。

子音は通常、このようなルールに従います：

- C は、Cat（キャット）のように a,o,u の前にあると硬い音（K 音）になります（Calliandra の発音は Kali-andra（カリ・アンドラ）です）
- C は Circus（サーカス）のように e, i, y の前にあるとソフトになります（Cereus は Seer-ee-us（シー・リー・ウス）と発音します）
- Ch は、Chrisactinia（クリサクティニア）の K の音（Kry-sac-tin-ee-ah（クリ・サク・ティ・ニ・ア）と Cheese（チーズ）のソフト Ch があります）
- G は Gardenia（ガーデニア）のように a, o, u の前に Gap や Go のような硬い音、Geranium（ゲラニウム）のように e, i, y の前に柔らかい音があります
- Ph は F と発音されます
- 固い T は Table（テーブル）のようですが、Nation（ネーション）の Sh のように ti を使った単語です
- Y は Dyssodia（ディソディア）や Cycas（シカス）のように長い i になり、Di-so-dee-ah（ディ・ソ・ディ・ア）、Si-kas（シ・カス）と発音されます

ラテン語やギリシャ語の魅力は、名前の各パーツを分解して読み解くことで、その植物がどのようなものかを正確に知ることができることです。

例：*Astrophytum myriostigma*（アストロフィツム・ミリオスティグマ）

最初の名前や属名は *Astrophytum*（アストロフィツム）で、訳すとこうなります：

Astro（アストロ）――星
Phytum（フィツム）――植物

第二の名前や属名は *myriostigma*（ミリオスティグマ）で、訳すとこうなります：

Myrio（ミリオ）――多くのまたは数えきれない
Stigma（スティグマ）――スポットまたはタトゥーマーク

この植物が分類された当時、無数の斑点がある星形の植物を表現するために、これらの言葉が慎重に選ばれたそうで、アストロフィツム・ミリオスティグマを見る前からイメージしやすくなっていますね。

これらのヒントを試してみれば、すぐに有名なラテン語のフレーズ「Veni, vidi, vici!」を言えるようになるでしょう。（私は来た、私は見た、私は征服した！）

覚えておくべきギリシャ語

acanth, acantho（アカンス、アカント）： トゲがある、イバラがある
albens, albus（アルベンス、アルバス）： くすんだ白色
aurum（オーラム）： 金
australis（オーストリス）： 南、南方
azureus（アズーレウス）： 紺碧、深青
bi（ビ）： 2
binatus（ビナタス）： 一組として
bis： 2回
brachy（ブラッキー）： 短い
brevi（ブレヴィ）： 短い
Caeruleus（ケラレウス）： 地中海の深い青
canescens（ケーンセンス）： 灰色化、灰色っぽい
capitatus（カピタタス）： コロンとした頭
chlor, chloro（クロー、クロロ）： 緑
chrys, chryso（クリス、クリソ）： 金色
echinatus, echinate（エキナタス、エキネート）： 剛毛武装
etum（イーサム）： 植物区系
ferox（フェロックス）： 激しい、棘のある植物
floridus（フロリダス）： 花盛り
gal, gala（ガル、ガラ）： 牛乳、ミルキー
glob, globi（グロブ、グロビ）： ボールのような
niger（ニガー）： 黒、グロッシーブラック
poly（ポリー）： 多くの
pubens（プーベンス）： ふわふわした
rupes（ループス）： 岩、岩質
scandens（スカンデンス）： 上昇
trich, tricho（トリチ、トリコ）： 毛、毛のある
undatim（アンダティム）： うねるように
vulgaris, vulgatus（ブルガリス、ブルガタス）： 共通一般、普遍的
common general： 一般的、普通

植物に関するヒント

4Pを覚える:

適切な植物 / 適切な場所 / 適切な条件 / 適切な手入れ

適切な植物は、そのスペースに適した大きさに成熟します。また、他の植物と同様の水やりを必要とするか、より多くの水を必要とする植物と区別して管理します。適切な場所は、やけどをしないような適度な日差しや、日陰になりすぎることで伸びることを防ぐことができます。適切な土壌条件は、それぞれの植物が必要とする適切な養分の供給、固定、必要な排水を可能にします。そしてもちろん、これらの植物の適切な手入れは、最適な生育のために十分な水を与え、水をやり過ぎないことに関係しています。

本書で紹介する植物の種類は、膨大な水を蓄える能力を持っています。多くは、与えれば与えるだけ水を吸い上げる日和見的な植物です。しかし、与える水の量が多すぎると、組織へのダメージが大きくなり、救われないという限界があるのです。水が多すぎると窒息したり、根に菌が繁殖して、特に気温が高いときには植物を枯らしてしまうことがあります。そのため、水はけをよくすることが大切です。

ストレスのある植物は、害虫にとって磁石のようなものです。観葉植物や葉の多い景観植物に感染する害虫は、サボテンや多肉植物でも同様に問題になることがあります。害虫対策には、確実で簡単な 2 つの防衛策があります：

- 植物を健康で元気にする。
- 観察すること。潜在的な問題の兆候を注意深く観察し、迅速に対処する。

ペスト

もちろん、最初は非干渉の植物だけを設置しましょう。しかし、植物を見つけると、あなたと同じように、たくさんの生き物があなたの植物を好きになるかもしれません。ここでは、そのような害虫の種類と対処法について説明します。
注意：市販の製品を選ぶ場合は、必ずメーカーのラベルの推奨事項と安全上の注意事項をすべて守ってください。

アブラムシ：アリはアブラムシが食べた後の甘い排泄物であるハチミツに集まるので、アブラムシの侵入を知る手がかりになるかもしれません。この蜜ろうが大量に発生すると、植物の表面にすす状のカビが発生することがあります。もし見つけた場合は、ホースで水をかけ、殺虫石鹸やニーム油でアブラムシの問題に対処してください。また、アブラムシを食べるナナホシテントウやテントウムシを導入してみてください。

コナカイガラムシ：殺虫石鹸や市販の殺虫剤は、界面活性剤と一緒に塗布すると効果的な場合があります。

ダニ：まず、感染した植物に水や殺虫石鹸を吹きかけることから始めます。大発生した場合は、市販の殺ダニ剤を複数回使用すると効果的です。アロエダニは微小なため、被害が見えるだけかもしれません。通常のハダニ類は、葉に黄色や白の斑点ができたり、葉の周りや下に細かい網目ができるのがわかります。乾燥ストレスに苦しんでいる植物はダニを引き付けるために敏感であることを心に留めておいて下さい。

カイガラムシ：発見したら丁寧に削り取るシールドタイプの昆虫です。大発生すると防除が難しいので、予防が重要です。手に負えなくなった場合は、浸透性殺虫剤が最も効果的です。

コナジラミ：葉の多い景観植物の多くで、しつこい害虫となる可能性があります。殺虫石鹸で何度も処理するのも効果的ですが、定期的にホースで患部の植物を洗い流すだけでも十分です。黄色い粘着トラップも有効な防除方法です。

アリモドキゾウムシ（通称：イービル・ウィービル）：アガベアリモドキゾウムシは、造園業者にとって厄介な問題になっている甲虫です。成虫は、長い管状の鼻を持つ長さ1/2インチの忍び寄る黒い甲虫です。メスはリュウゼツランの葉の裏に豆粒大の穴を開け、根元まで食い込みます。中に入ると卵を産み、それが孵化して幼虫になり、小さな白い蛆虫になり、本当の被害を与えます。幼虫は植物の中心部に潜り込んで食べ続け、成熟して蛹になり、成虫として現れると、植物を腐らせるのです。

スナウトヨトウの予防は多方面から：

- ゾウムシは、炭水化物を多く含むアガベに引き寄せられます。彼らの好物は：アガベ・アメリカーナ、A. オバティフォリア、A. ウェベリです。葉の薄い品種を選べば、スナウトゾウムシを寄せ付けないかもしれません。アガベ・アングスティフォリア、A. オカフイ、A. フィリフェラなどの植物を使ってみてください。

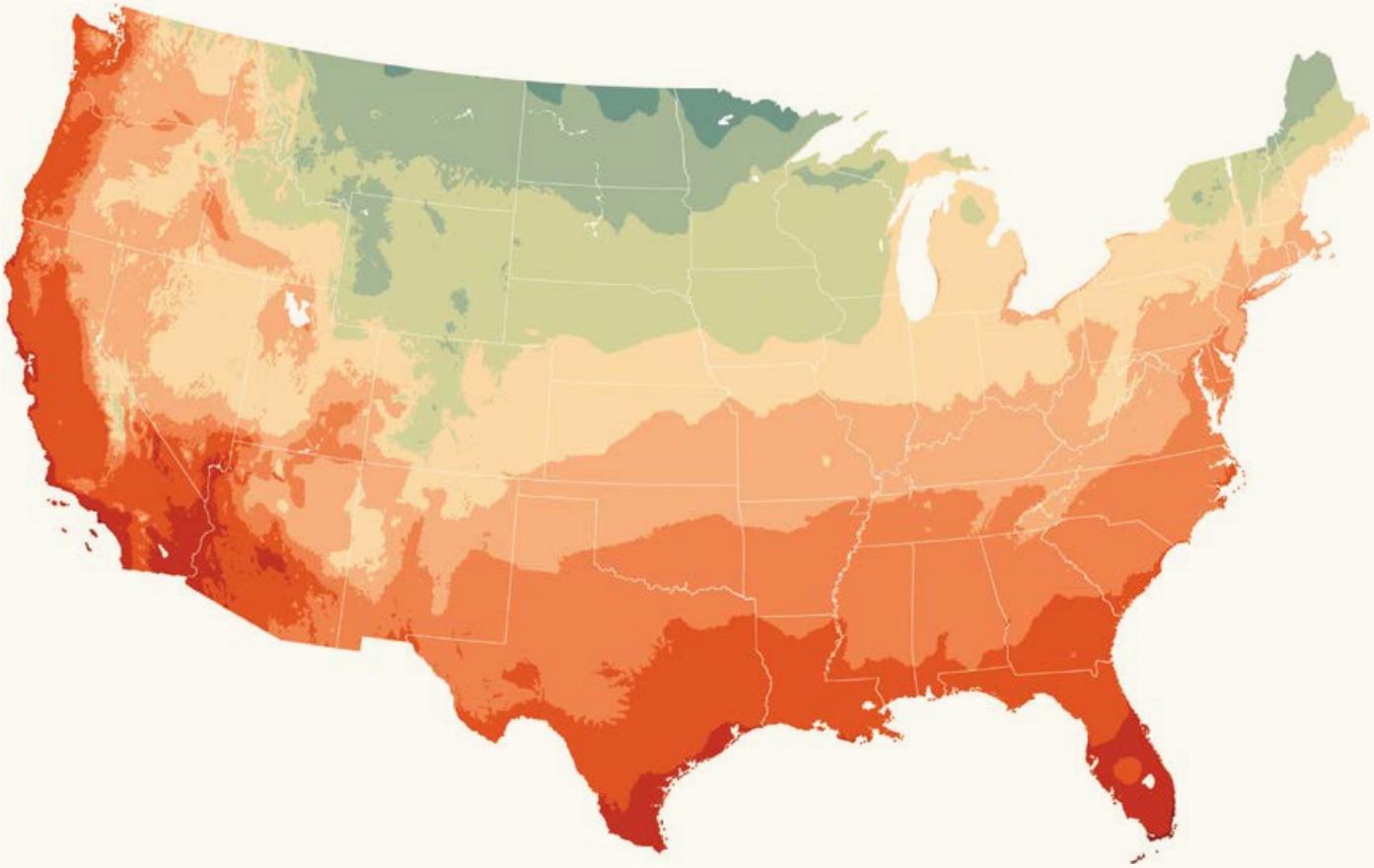
- 近所にどんな種類のアガベが植わっているか見てみましょう。もし、近くに味の良い大きなアガベがなければ、あなたの家のアガベはあまり傷つきにくいかもしれません。

- ゾウムシの成虫が歩き回っているかどうか、探してみてください。見つけたものはすべて処分しましょう。葉に小豆大の穴が開いていたり、地面近くの植物にトンネルを掘っているのを探してみてください。葉の付け根にしわが寄ったり、黄ばんだりしている植物は、トラブルの兆候であることがあります。腐ったような悪臭を放ち、根元が緩んでいる植物は、終わっている可能性が高いです。

- 感染した植物をできるだけ早く処理するか、除去します。化学的な治療法は限られていますが、適切な浸透性殺虫剤が市販されています。また、植物の周囲の地面に粒状の農薬を散布すると、雌のゾウムシ成虫に対して有毒な抑止力となることがあります。

USDA 耐久性マップ

USDA 耐久性 ゾーンは過去に発生した最低気温ではなく、30 年間の年間平均極端最低気温に基づいています。
微気候とは、あなたの身近に存在する可能性のある、微細な気候の変化のことです。例えば、黒板やコンクリートでできた小さなヒートアイランドや、小高い丘やアロヨ、大きな排水路でできたクールスポットなどです。また、個々の庭には、非常に局所的な微気候が存在することもあります。庭全体が周囲より多少暖かくなったり涼しくなったりするのは、その場所が庇護されているか、あるいは露出しているからかもしれません。時間をかけて観察し、このようなポケットがある場所を認識することで、そのスペースに最適な植物を選択することができます。最も重要なことは、USDA ゾーンとあなたの特定の国のゾーンの変換を確認することです。



それぞれの耐久性ゾーンにおける冬季平均気温

ゾーン 3	-40°F から -30°F
ゾーン 4	-30°F から -20°F
ゾーン 5	-20°F から -10°F
ゾーン 6	-10°F から -0°F
ゾーン 7	0°F から 10°F
ゾーン 8	10°F から 20°F
ゾーン 9	20°F から 30°F
ゾーン 10	30°F から 40°F

A1
ARIZONA
WHOLESALE GROWERS
US DOT 1126433

HAPPY
VALLEY
PLANTS
Grown in Arizona

ありがとうございます

ハッピーバレー・プランツは、世界中のランドスケープデザイナー、建築家、請負業者、開発業者、商業顧客、自治体、小売業者、その他卸売業者と、グローバルに展開していることに誇りを持っています。私たちは、41 年以上にわたるアリゾナでの栽培経験と、誰よりも多くのワシントン条約認定を持つ専門知識をお届けしています。そのため、私たちはすべてのアガベとサボテンの高品質な供給源となっています。

近年、造園業はさまざまな変化を遂げていますが、私たちの品質へのこだわりは決して変わりません。私たちは、すべてのお客様に健康な植物と優しい笑顔をお届けするために、日々努力しています。

当社の主要拠点であるイノベーションラボとオフィスは、アリゾナ州フェニックスの中心部にあります。

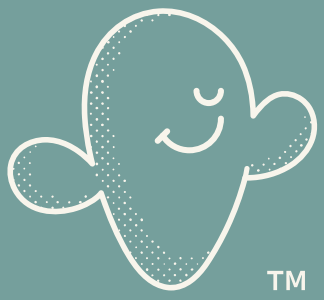
また、レイクプレザント、カンペベルデ、レインボーバレーなど、肥沃なグランドキャニオン州の各地に最新鋭の生産設備を有しています。

アリゾナ産のアガベ、サボテン、多肉植物の世界的な需要に応えるため、カスタマイズした 18 輪車でアメリカ南西部全域に出荷しているだけでなく、商業的な出荷も行っています。現在、日本、ヨーロッパ、中東のお客様に 100%ご満足いただいています。

どんな場所でも、どんな予算でも、どんなニーズでも、私たちがあなたの景観プロジェクトをお手伝いします。

HAPPY VALLEY PLANTS™
Grown in Arizona

お問い合わせはこちら – HAPPYVALLEYPLANTS@GMAIL.COM



HAPPY VALLEY PLANTS™

Grown in Arizona

HAPPYVALLEYPLANTS.COM